

The Kansai University Bulletin

Osaka, July 15th, 1925—No. 31

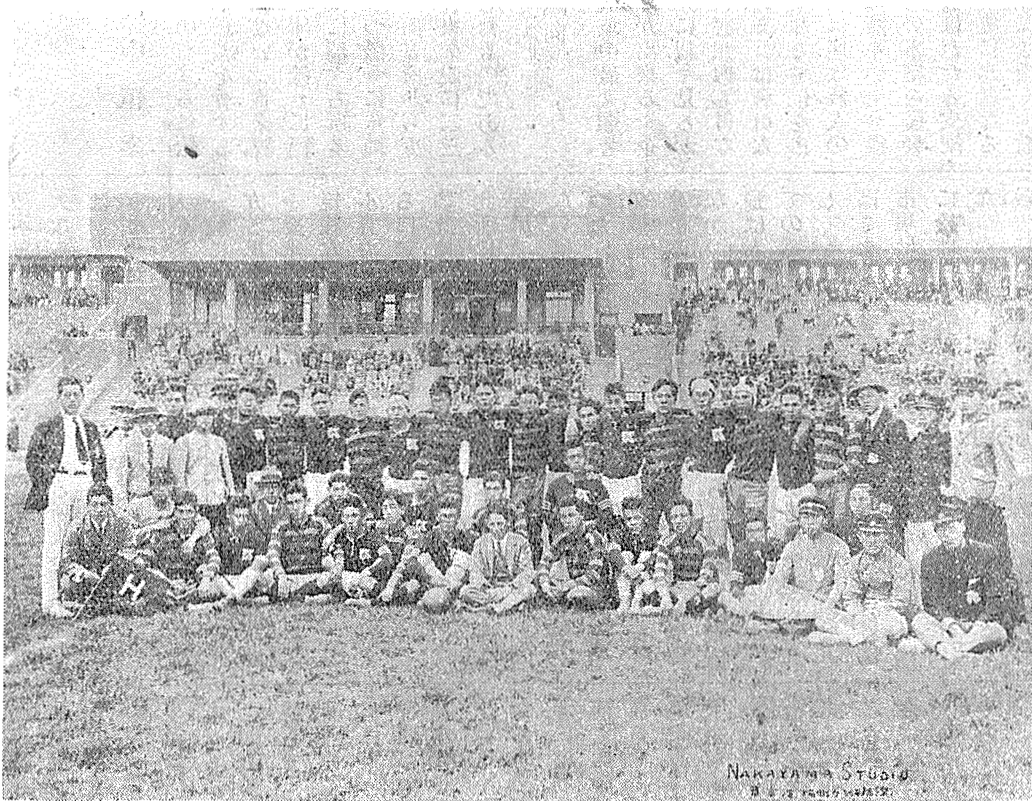
報學山里子

行發日五十月七

號一十三第

年四十正大

Ruggers of the Varsities, Hosei and Kansai.



(照參事記報塾生學)員部球蹴式ラ學本及學大政法るけ於に場技競宮神治明

阪大

堀佐土話電
番〇七五五・九四〇一

局報學學大西關

座口金貯替振
番五七八二一阪大

千里山學報 第三十一號

目次

- 挿繪——明治神宮競技場に於ける法政大學及本學
ラ式蹴球部員(表紙)——イマヌエル・カントの影
像——故宮崎音松氏——村尾靜明氏——愛日少學校に
於ける音樂部試演會——天王寺公會堂に於ける福
島辯論部主催學内雄辯大會——千里山獨法會懇親
會——福島筑豐鄉友會員一同——第二商業學校主催
第一回學生雄辯大會
- 獨占價格の研究 關西大學教授 沖中恒幸
- 英國勞働運動史概説(續) シー・ディー・エ
ッチ・コール
- 學内報——第一學期授業終了——第一學期試驗施行
——本學理事新任——本學新協議員選任——本學關係
市議會選者招待會——本學關係者の大阪市會役員
當選——第三回夏期語學講習會開催——千里山親睦
會例會開催——ガウエン教授からの來信
- 校友の面影——村尾靜明氏
- 校友彙報
- 柿崎記念文庫寄附申込者芳名
- 本學擴張基金寄附申込者芳名
- 千里山學報維持費受領報告
- 學生彙報
- 關西甲種商業學校彙報
- 文藝欄——新刊紹介——雜錄

研究

獨占價格の研究

關西大學教授 沖中恒幸

以下簡單に述ぶる所は供給者の有する供給獨占が社會經濟的に如何なる意義を有するかに就ての二三の暗示に過ぎない。從來經濟學上獨占到就て論じられる所が餘りに經驗を通ずる事の少ないドグマに偏する所多きに失する様にも考へられ且つ餘りに單純に考へ過ぎされて居る様でもある所から少量の經驗を分解して見て、從來の説に二三の附加修正を結論しやうとしたものである

(一) 企業の獨占的傾向

十九世紀に入つてからの經濟現象中最も顯著なるものに大企業傾向を見る事が出来る。企業單位が益益増大して來て遂に現今見るが如きに至れるは百年以前には到底想像し得なかつた所である。一七七六年スミスは會社なる企業組織は決して世界に重要な地位を占め得るには至らない。何となれば雇はれ人の仕事は到底個人的主人の如くに能率の上り得るものでは無く、又株主は自らの事業を監督し得ず彼等の代理をなす所の雇はれたる支配人は到底主人の如くに自らの事業に忠實なるを得ざるが故である。故に世界には極く少數大資本を要する場合に限り會社組織は存在するも大多數は個人經營として行はる可しと考へた。而もその後七十五年の後一八五一年

J. S. Mill は丁度之に反對に、如何なる事業が個人企業として残り得可きかを問題とするに至つた。而して現代に於ては U. S. Steel Standard oil, A. E. G. Big Five 等の如き巨大なる企業を初めとして至る所大企業の傾向は何人も雖も承認せざるを得ざるが如くに進み來つた。

大企業の原因を先づ機械の使用に認むる事は一般に承認さるる所であり、恐らく正しい見方と思はれる。機械は買入に大なる固定資本を要求し、大なる工場設備を要し、更に大規模なる販賣の設備を必要とするが故である小資力をのみ有する個人は屢屢之等を經營するに無力である。機械の多方面なる進化は益益此傾向を募らせる。

此所にも機械使用による大企業即ち大量生産が、その増大と同率の市場擴張を伴ふものならば此所に重要な問題を引き起す事も無かつたかも知れぬのであるが、事實上に於て市場の擴張は極めて大なりしにも拘はらず、尙生産能率の増加、大企業の傾向には追いつき得なかつたのである。何故ならば内國市場の擴張は人口の増加が生活程度の引上げかによつてのみ可能であるが、財産所得は急速に増大しても社會の大多數を占むる勞働所得の増大はさまで大きな率では行はれ無かつた。外國市場は更に増大したのであるが、之亦外國に於ける生活程度の向上を前提しななければならぬ以上、一國の外國市場擴張は他國との競争によつて獲得し得るのであるが故に全體から見る場合には内國市場とその性質を一つにする。かくて機械の改良發明は供給力を益益容易莫大ならしめ、この結果市場獲得の上

に益益競争が激しくならざるを得ない事なつた。此競争に當つて大體に於て大企業は小企業を市場外に驅逐するに成功して來た。その原因は大企業になればなる程、生産上の技術的經濟を得る(例へば分業化、精巧なる機械の發明並に使用、原料並に交通機關の支配等の外、大量生産による一個當り原價の遞減、副生産物の生産、金融機關上に支配力を又は少くとも之を有利に使用し得る力を獲得する等)即ち大企業生産は一單位當りの生産原價を減少すると言ふ事なる。此間小企業生産の生産原價は依然として同様の程度に止るか、又は少くとも機械使用等による所の節費の程度は大企業の夫に及ばない。此際兩者の競争の結果は明白であつて大企業家は價格を引下けて小企業家を Underselling する事となる。その價格の程度は概して言へば小企業家には利益餘りに小なるか或は損失となつて而も大企業家に相當の利潤を残す點である。然らずんば此競争は大企業家にこつても永續的行ふ事は困難である。此結果大體に於て大企業家のみ市場に残る事となる。かくて多數小企業家は市場外に驅逐されて少數大企業家の残有するに至れる場合、彼等の間に行はれる競争は非常に激烈となつて來る之れ第一に彼等總てが全市場を蔽ふに足るだけの生産力を有する者のみなるが故に、同一の中央市場に於て其相手方に對抗するものであり更にその競争者は相互に大企業家なる結果その方に優劣は無くして或は少くしてその相手方を Underselling する所の力はその何れにも持たれざる事となる。自由競争が最も激しく行はれるは一社會に於て同一性

質の生産に従事する會社が二つになつた時に於てである。斯の如き場合には先づ大企業から来る生産上の經濟は全部生産者の手から物價の下落と言ふ形に於て消費者の手に流れ込む事となる。之れ即ち双方は同一の力を保有するの結果として同一の原價によつて生産し得るが故に同一の價格に引下けても尙同一の利益を残し得るが故である。のみならず一方の持てる特殊の長所から来る經濟も、相手方に於て他の種類の特殊の長所を所有する場合には共に夫等の長所から来る經濟は消費者の手に流れ込む。例へばAとBの二大企業家が同一市場に競争する。Aは特殊の機械を發明使用する結果Bよりも2%低き費用にて生産し得、Bは機械に於ては劣るも安き労働者を得るの地位にある結果勞賃の方にAよりも2%低き費用にて生産し得た。此際AとBとは烈しき競争の結果共に2%なる特殊の經濟を吐き出してそれだけ價格を引下ける。即ち彼等の特殊の優秀なる地位は消費者の利益として吸收される事となる。競争は然し決して此所に止る事なくして兩者の市場爭奪は愈々激しくなつて来る結果彼等の販賣費用は益々増大する一方なるに、價格は愈々引下けねばならぬ事となり、遂に兩者の競争は Cut-throat Competition の状態となる。

之がもし經濟狀態が向上季にある時ならば、彼等の價格引下は左迄過大に至らない時もあるが景氣沈靜の時期なるに於てはその何れかが倒れる迄烈しき競争を續くる事となる。斯の如き極端なる價格引下は勿論長期に亘つて行はれ得ないのであつて、普通持久力の小さな企業が市場外に驅逐さるか或は兩者の協

定によつて併合、合同又は聯合のいづれかの形式によつて一企業として働く事となるに至つて止む。或場合は價格生産量等重要なる點に於ける協定をなして此等の點に於ては一企業と同様に働く事となる之れ或種生産者が市場を獨占するに至る過程である。尤も此獨占に至るに前述の如く、最後二大企業に減少して後初めて聯合、併合、合同等を見るものとは限られずして、事實は多くの獨立競争者が未だ存在する時に行はるるものであるがその此時期に達するの理由に至つては變る所が無い。

(二) 此種傾向の社會的意義

之によつて見れば獨占は自由競争、機械生産なる二重の條件の上に發達し來れる大企業傾向の結果として社會に現はれるものであつて彼等は『販賣の爲めに提供する貨物の量或は提供さるる所の價格の何れかを決定する力を持つ』(Marshall: Principle p. 476.) 事となる。提供する貨物の量を決定する力の意義は之によつて提供する價格を決定するが爲め的手段たるに外ならぬのであるが故に、結局獨占とは個人又は個人の團體が市場價格決定の力を有するに至れるが如き狀態に達せる企業形式を指すのであつて、斯の如く獨占企業によつて決定されたる價格を獨占價格と言ふのである。其所で獨占の問題、特に社會經濟的問題と言ふのは此獨占價格にその重點を置く事となる。何となれば現代の經濟組織に於て生産者も消費者も一切の吾々が經濟的餘剰を得るには必ず價格を通じてのみ可能なるが故に、もし何人かが價格を決定する力を持つる時には、彼は少くも彼の扱ふ財貨の關係

する範圍内に於て社會構成員全體の厚生を價格決定力に相比例して左右し得るが故である。換言すれば彼は自己に最も都合よく價格を定め、他人の都合は全く度外視し得るが故である。考へられるからである。

更らに獨占價格が社會的に深甚な意味を有するは、大企業形式が特にある特定の事業にのみ適する事にもその理由を發見し得るのである。已に述べたる如く大企業は第一に機械使用を條件とするものなるが故に機械生産をなす生産にのみ之を見得るは明かである。第二に單に機械生産を行ふのみならず之を大規模に行ふには極めて一般的なる需要を有する貨物即ち市場の非常に大なるもの、少くも全國的、多くは世界的市場を有するものたる事が必要である。此二種の條件を有する貨物の生産販賣にのみ大企業は行はれ得るのであつてその何れをも缺く事は許されない。而らば機械生産が許され、市場の大なるものは如何なる貨物なりと言へばその貨物の消費者が貨物に個性による特殊を要求しない様なものである。換言すれば標準化し得らるるが如き貨物である。美術工藝品とか、時計とか飾物とかの類は消費者が個性個性に従つて各特殊を要求するものなるが故に標準化を嫌むものである。標準化され得ざる事が其種貨物消費の性質を考へられる。之に反して生活必需品並に向上品の多くは機械生産に適し且つ市場範圍が廣大である。例へば鐵、鋼鐵とか機械類、綿布綿糸等の紡績品、麻糸、麻織物、小麥粉、染料、電機器具、皮革、紙類等の如きものであつて、之等には一切個性による選

擇の餘地無きと共に需要は世界的である。従つて大企業生産は常に此方面に於て發達を來し得るのである。而も之等異なる二群の貨物と社會との關係を見る時には前者は主として生活餘裕に關係を有し、後者は主として生活必需に關係を有して居る。即ち前者は餘裕ある消費者の餘剰に多く關係するに對し、後者は餘裕なき者の全消費に餘裕ある者の基本的消費に關係する。故に後者の關係する所數に於て遙かに前者を凌ぐのみならず、その影響する深さに於て社會大多數の生存に關係を有する。此意味に於て大企業並にその發展たる所の獨占は社會全體の生活に對して極めて深甚なる意味を有するもの。考へねばならぬ。斯の如き趨勢に就て J. A. Hobson は次の如くに結論して居る。

- (一) 近代社會に於ける富にして大企業的方法に於て生産される割合は益々増加し行く事。
- (二) 此中央集中の傾向は特に一般人の必需品並に基本的なる向上品の製造交易に於て著るしき事。
- (三) 富の總生産の裡に於て資本の有する力の割合は勞働の有する力の割合に比して益々大なる事。
- (四) 物質財の最も基本的なる種類の生産に資本の重要さが著るしく増大し來れる事。
- (五) 集中的傾向は資本に於けるよりも勞力に於て微弱ではあるが總數より見る時は大企業に従事する勞働者の割合は益々増大する事、然し社會的意義かくの如く重要な大企業が他の大企業と自由競争に従ふ間は、彼等の要求する價格は小企業の場合よりも高くあり得る

理由はない。反つてより低くなる傾向があるが故に問題は比較的少いのであるが之が頂點に達して獨占に至る問題は極めて重大なる。之れ獨占價格なる政策の故にである。

(三) 獨占價格の決定に就て

(A) 競争價格

獨占價格を論ずるに先立つて先づ自由競争に於ける價格が如何に決定されるかを見なければならぬ。然し競争價格決定は獨占價格決定と共に極めて解決が困難であつて學説が區區に別たれ、經濟學上論争の中心點となれるが故に暫らく之を決定的に述べる事は差控える。唯獨占價格と對象して其明白に異なる點にして恐らく異論少なかる可しと思はるる所迄を述ぶるに止むるならば、純粹に自由競争によつて價格が決定される場合即ち賣手にも買手にも競争者ある場合には

(一) 何人か一人の賣手又は買手の意志によつて價格は左右され得ない。壹圓で賣らうと欲する者があつても他の競争者が八拾錢で賣る時には彼も亦八拾錢で賣り得るのみである。壹圓で買はうとするものがあつても競争者が壹圓貳拾錢の價格を提供する場合には彼も亦壹圓貳拾錢を出すに非んば買ひ得ない。
(二) 然らば八拾錢で賣る事を肯んじ、又は壹圓貳拾錢で買ふ事を肯んずる者(即ち之等を限界にある賣手又は買手 Marginal seller or Marginal buyer と稱する事が出来る)がかく八拾錢なり、壹圓貳拾錢なりの價格を各各の意志の通りに決定し得たかと言へばそうでは無い(少くも經濟的に行爲しつゝある事

を前提する以上は)。八拾錢で賣り得るものは唯無暗に八拾錢の價格を出し得たのでは無しに生産原價並に一般利潤率の會計の上に立つて初めて八拾錢なる價格を出し得たのである。のみならず壹圓を主張せるものを排して自らの物を賣らうとする競争の結果八拾錢にした。故に此八拾錢は彼の意志によつて如何にもなし得ざる原價並に一般利潤率によつて外部から規定されて居る。壹圓貳拾錢と言ふ價格を肯んずる購買者の場合に於ても同様外部から、しか強制されたのであつて壹圓では他人を排して自分が買ひ得ない。自分も他人も壹圓を言ひ出した。而かも自分がどうしても他人を排して夫を買ふ必要に迫られて壹圓貳拾錢と言ふ迄競上けねばならなくなつたのである。即ち其「競争と言ふ所の外的力の結果であつて彼の思ふ儘に、即ち自らの意志によつて決定したのでは無いと言はねばならぬ。

(三) 獨占として今論じつゝあるは貨物供給者側の獨占に就てであるから、競争の存在する場合にも等しく供給者側の出す價格即ち賣手の提供する價格のみに就て言へば、競争價格にあつては生産原價(一般利潤を今の所含めておく)なるものが一つの重要な地位を占める。競争が自由且つ激しく行はるれば行はる程、賣手の提供する價格は生産原價に近くなつて行く。此生産原價は最も能率の低き生産者の掛けねばならぬ原價である。何故ならば賣手の側の競争の結果價格は漸次下落して行つて僅かに平常利潤を得るの點、即ち廣義に於ける原價に迄下けて行くのであるが同種物品の生産者 A・B・C……N の各生産者の

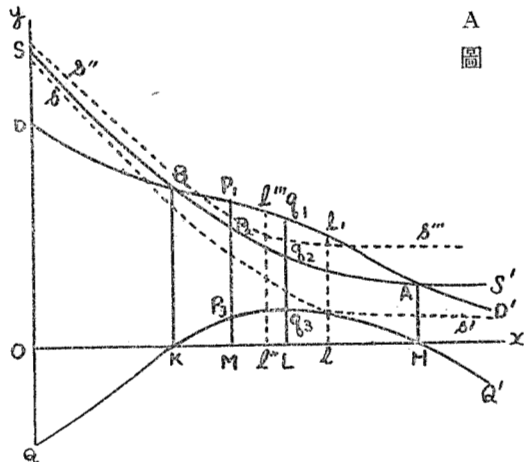
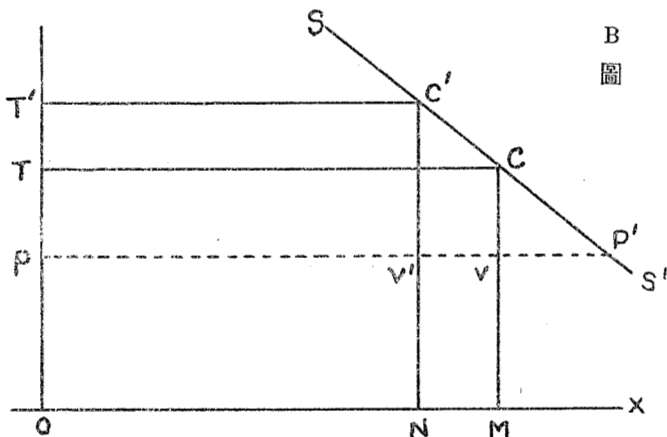
間には生産能率に相異がある、即ち生産原價に相異がある。N が能率最低の者と思すれば、彼の原價より以下に價格の下る時には彼は生産を續け得ずして市場の外部に驅逐される、即ち N のなせる供給量が市場から減少する。故に少くも N が供給を續けつゝありと言ふ事は A・B・C……N 中にて N の原價に最も近き所に價格のある事は明白である。と共に N よりも、もつゝ能率の低き X・Y・Z 等が生産供給をなして居ない、即ち N が最後の供給者即ち Marginal producer であると言ふ事は、N が高き利潤を得て居ないと言ふ事をも意味する。何となれば、N の能率を以て尙一般率より以上の利潤ある場合には、N よりも能率の低き X・Y・Z 又は Y・Z が賣手の側に入り込んで來て生産供給を初め得るからである。而も X・Y・Z なる生産者の存在して居ないと言ふ事は、その時、その社會に於ける價格が N の原價に非常に近い所にある事を證明するものである。

即ち之等を一言にして言へば競争價格は生産能率の最も低き生産者、即ち Marginal にある生産者の原價に近く決定する傾向を持つのである。更らに換言すれば限界生産者の生産原價を以つて決定的要素(消極的な)となし得るのである。故に競争價格は生産者の意志以外にある外的原因によつて大體に於て決定されるものとする事が出来る(之には多くの條件があり、且つ意志の入り込み得る餘地絶無と言ひ得ないが此所には此點に觸れる必要がない)。之れ競争價格が最も自然的且つ最も公正なるものとされる理由と思はれる。

(B) 獨占價格通説

上述競争價格に對立して獨占價格なるものが論じられる。之が一般に承認せらるる説によれば(一)第一に獨占價格なるものは獨占生産者の意志によつて決定されると言ふのである。勿論一切の外的條件、需要者側の狀態の如何に拘はらず思ふ通りの價格を決定すると言ふのでは無いが、競争の場合の如く大體に市場に出されたる價格を標準として生産するので無く、自らの會計によつて價格を決定すると言ふ意味に於て生産者の意志によつて決定されると言ふ事が出来る。

(二) 然らば如何なる會計の下に獨占生産者が價格を決定するか。通常信じらるる所によれば最も多額の利益を持ち來すが如き點に決定する。J. B. Clark は言ふ。『獨占は出來得る限り多額の利益を得らるが如き點に價格を定める。——若し價格が段々々々高く引上げらるる時には貨物の賣行は減少して行き、遂により以上の價格の引上げは損失を來す事となる。賣行の量が非常に減少するに至る迄に、充分に多額の利益の保證する價格の點がある。完全なる獨占は價格を無限に引上げやうとしないので社會に苦痛を與へざる程度の價格を提供する。』
即ち獨占は價格を無限に引き上げやうとしない。然し自己の事業が最大の利益を挙げ得るが如き點に價格を決定すると言ふのである。此の考方の根柢は價格が高くなればなる程、需要の量は減少し、價格が低くなればなる程、需要の量が増大する。故に價格の數字が増加するに反比例して賣高の數字が減少し、價格の數字が減少すればする程、夫に反比例して賣高の數字が増加する。かくして價格數字の

A
B
[E]

大利潤率を得る事の出来る點として L_{qu} の價格を選び、之を得るが爲めに供給を O_L に制限する。

今セリクマンの圖によつて之を見るもその最大利潤の點に止まるを意味は同様である (Incidence of Taxation, 3ed. p. 356) (B圖) OTの價格を以つてすればOMを賣り得、OTを以つてすればON量を賣る事を得。前者によつて得る總收入OTCMを一〇、〇〇〇弗とし、後者によつて得る總收入OT'CNを八、九九〇弗とする。PP'の線を生産原價の高さを現すものとする。一個當りの此高さはOTにて賣る際にもOT'にて賣る際にも同様である。前者にて賣る際の總生産原價OPVMを七、〇〇〇弗、後者にて賣る際の總生産原價OP'VNを六、〇〇〇弗とす。OTにて賣る際の純收入は一〇、〇〇〇弗と七、〇〇〇弗との差額三、〇〇〇弗となり、OT'にて賣る際の純收入は八、九九〇弗と六、〇〇〇弗との差額二、九九〇弗である。此所に於て獨占供給者はOT'の高き價格にてON量を賣るよりも、OTの低き價格にてOM量を賣るを以て優れりとする。

(三) 等の諸説から結論し得る重要な一點は、獨占價格を決定するに直接影響を及ぼし得る所の力は、價格の上下と共に減増する需要量であると言ふ事である。生産原價の上下は直接影響を及ぼし得ない。第一に競争價格の場合の如く限界生産者なるものが無いから、生産者によつて異なる所の生産原價は無い。故に最も能率低き生産者の生産原價は此場合無意味である。第二に獨占價格は生産原價に向ふ所の傾向を有し得ない。生産原價が純利益の量

を計算するに必要な要素なる事は言ふ迄も無い。更らに價格をして一定の領域内に限定するが爲めの上限下限を區劃するに役立つ事即ち前掲マースハルのグラフの於けるA、Bの兩點を劃する事に役立つ事、かくて價格決定の兩限界を與ふる事に役立つは當然である。けれども其生産量の増加と共に低下して行く所の一個當りの生産費が全體として同一率に低下しても又は向上しても獨占價格として選ばれる一點に至つては、變動なき以前に何等異なる所が無い。マースハルのグラフに於けるD'D'線が全體として下に押し下げられても、或は引上げられても、S'線とD'D'線との間の距離（即ちOX線とQ'Q'線との間の距離）の最も長き一點は依然として等しくq₂竝にq₃を貫くL₁線のおかれる點である。S'線の上下運動はq₁q₂（即ちL₁）の長さを伸縮せしめる、即ち獨占利益の大小を來す事とはなるが、最大利益の點を左右に變動せしめる事とはなり得ない。セリグマンのグラフに於てP'P'線をOX線との平行を保ち乍ら上卜に變動せしめても、O'T'の價格の方が多額の獨占利益を得る事に相異は來ない。

此所に於て獨占の場合に生産原價なる項目は獨占者の利益を捻出するに必要な土臺ではあるが、獨占價格の決定には何等直接の影響を及ぼし得ない事となる。その結果機械の發明發見、組織の改良等の爲めに従前よりも安き原價を以つてある種の貨物を生産し得るに至つたとしても、その利益は決して消費者の手には流れ出ず（即ち價格の上に影響してその引下を來さざるが爲めに）唯獨占生産者の利益の量を増大するのみとなる。此の種の結

論が即ち社會の基礎産業に私的獨占を許す場合には、社會の經濟進歩が何等消費者即ち大多數の人類を利益せずして少數獨占生産業者のみの利得なるを以て排さるるに至る所以である。

(四)上述せる所はS'線の總ての點が同一率に上下せる場合の事であるが、もし機械の發明改良、技術の進歩、新原料發見等の結果として、生産量増加に伴ふ原價遞減の率が從來よりも大なるに至れる時。即ち生産量が増加してO點よりX點に近附くに従つて生産原價はS點よりS'點にカーブを曳き乍ら遞減して行く。此遞減の曲度にして等しき限りS'線の上下變動は第三に前述せる如く最高利得點に變動を來さ無いが、その曲度を異にして、點線s'線の如くなる時、最高利得點はI'線の通過する點となり、獨占價格はI'點に定められる。夫と反對に原料の缺乏、技術の退化、勞力の供給不足等の爲めに、生産量増加に生産原價遞減の相伴ふ率、從來よりも少なきに至る時、即ち上掲グラフ中點線s'線の如くなる時、最高利得點はI'線の通過する點となり、獨占價格はI'點に定められる。生産原價は斯の如き條件に於てのみ獨占價格決定に影響を及ぼし得るものと考へる事が出来る。然し乍ら此場合にも實は最高利得の計算なる階段を通じて居るのであると共に、單なる原價の高低では無いと言ふ事を記憶しなければならぬ。故に生産原價の性質がs'又はs'線の如くなつた後に等しき率を以つて生産原價が高低してもI'又はI'點の價格に變動を來す事は無い。

(C)上説に對する數個の

附加修正

(一)もし以上の解釋にして誤なしとすれば、獨占價格は競争價格よりも高くなければならぬと言ふ理由は無い。と共に競争價格よりも必ず低いとも言ひ得ない。自由主義者は多く前者の如く言ひ獨占當事者は多く後者を主張する。之れ自由主義者によれば競争價格は必ず生産原價に向ひ、その近くに於て決定されるに、獨占價格は最高利得を得るの點に定まるを考へらるるが故である。之に對して獨占當事者によれば獨占業は大規模生産による技術上の各種の經濟を得、更に競争の浪費其他經營上の經濟莫大にして、従つて生産原價著るしく低下し來る結果、價格も亦必然的に安からざるを得ずとすものである。然し乍ら獨占到大なる生産上の經濟ある事も、最大利得の點に價格の決定さるる事も共に眞なりとしても、之れ直ちに競争價格よりも高し、又は低しと豫斷し得る事は困難である。最高利得の點が生産原價に近き點なる競争價格より低き事もあり得可く、又高き事もあり得る事と思はれる。之を事實獨占價格の經驗に見るに競争價格よりも高き例もあり、又低き例もある。

獨占價格の高かりし顯著なる一例として米國に於る鐵釘價格を擧ぐる事が出来る。一八八九年から一八九五年の初期に至る迄の價格も、その原料たる鋼鐵塊の價格と共に漸次低下し、同時に兩者の利益差額も亦漸次低下の傾向を採つた。然るに一八九五年を通じて釘價は急激なる大暴騰を示し、同年初め百封度一弗に達し無かつたものが、同年中に、一弗

四十五仙、一弗六十八仙、二弗二十五仙、更に一八九六年に入つて二弗五十五仙を稱へた。而も此間原料たる鋼鐵塊の價格は七十仙から一弗迄を上下したにすぎなかつた。従つて兩者の利益差額も百封度につき二十五仙から一弗七十仙に上つた。斯の如きは如何なる理由によるかと言へば、一八九五年に鐵釘の生産者間にブール形成されたるによるのである。此所に獨占價格として大なる騰貴を示したのである。従つて一八九六年末ブールが破れて競争市場出現と共に直ちに價格は下落して一弗三十仙になつた。

獨占價格の反つて低かりし例は米國ブリキ板に之を見る事が出来る。一箱(百八封度入)一八九五年に三弗八十仙のものが一八九八年烈しき競争のあつた時遂に三弗以下に下落し、同年十二月 American Tin Plate Co. 組織の前後から騰貴して一八九〇年の半頃には五弗になつたのであるが、一九〇〇年一月には四弗六十五仙となり、同年九月には四弗に下落し一九〇一年 U.S. Steel Corporation に併合されて、その獨占的地位益々強固たるに至れるにも拘はらず一九〇一年から二年の九月迄四弗の價格を維持した。而も一九〇二年は原料並に勞賃の甚しく騰貴して、一九〇一年の初め頃一箱のブリキに要したる鋼鐵、錫、勞賃の合計二弗六十仙なりしもの一九〇二年の半頃には三弗二十仙になつて居る。一九〇二年の十一月にはブリキ價格更に下落を示し、四弗を僅かに超過せる事一九一一年に一度之を見たのみで一九一五年まで續いて居る。その間競争時代の價格よりも低く三弗三十仙を稱へたる事あり大體に於て原價に相應

じ、而かも高き價格を要求しなかつた。之に對して一方米國物價指數を見るに、一九〇〇年末から一九一四年末に至る間に、一般物價は約二割六分(一二・五から一四・一五迄)の漸騰を示して居るのであるから、ブリキ價格が一九〇〇年末から一九〇二年末迄の間維持せる四弗から下落して、以來十數年の期間中殆んど常に四弗以下を維持したるを見れば明らかにブリキ價格は獨占と共に下落したるものと言はねばならぬ。

即ちかくて獨占價格は競争價格に比して高しとする事も、低しとする事も共に誤である。此事は上述の通説を破るものではなくして唯最大の利得を持ち來すが如き獨占價格は多く競争價格の上にあるもの誤信され易きが故に、事實に於てその然らざるを例示せむとせるものである。

(二)上述通説によれば獨占生産者は常に最高利得計算の下に價格を決定變動するものであつて、獨占價格は常に貨物販賣から直接に引出される利益の最も多からむ事を標準として定めらるるが如くに解釋される。獨占價格が人工的に定めらるるは事實であるが、その標準は必ずしも常に貨物の販賣から直接的に最高の利得を得るが如き點に置かれるとは限らず彼等の多くは常に價格の安定なる項目を重視し獨占的地位を得るや否や安定して繼續せる市場を得るが様に計劃を進めて居る。一九〇四年から十五年に至る獨逸鐵鋼の價格を見れば明らかに此事を知り得るのであつて、Gies の價格は常に Ingols の夫よりも屯に十マーク高く、blooms よりは五マーク高く、更に sheet plates よりは一マーク半低く定

めて差益を安定せしめて居た。今試みに同期間の Steel billets の Steel beams の價格を擧げて如何に人工的に變動少なからしめたるかを示す。(兩者共に Stahlwerkverband の生産物である。)(一屯に付マーク)

年期	Steel billets	Steel beams
一九〇四	一 九〇 二	一 一〇五 五
	二 九〇 三	二 一〇五 五
	三 九〇 四	三 一〇五 五
	四 九〇 五	四 一〇五 五
一九〇五	一 九〇 六	一 一〇五 五
	二 九〇 七	二 一〇五 五
	三 九〇 八	三 一〇五 五
	四 九〇 九	四 一〇五 五
一九〇六	一 九〇 一〇	一 一〇五 五
	二 九〇 一	二 一〇五 五
	三 九〇 二	三 一〇五 五
	四 九〇 三	四 一〇五 五
一九〇七	一 一〇 五	一 一〇五 五
	二 一〇 六	二 一〇五 五
	三 一〇 七	三 一〇五 五
	四 一〇 八	四 一〇五 五
一九〇八	一 一〇 九	一 一〇五 五
	二 一〇 一〇	二 一〇五 五
	三 一〇 一	三 一〇五 五
	四 一〇 二	四 一〇五 五
一九〇九	一 一〇 三	一 一〇五 五
	二 一〇 四	二 一〇五 五
	三 一〇 五	三 一〇五 五
	四 一〇 六	四 一〇五 五
一九一〇	一 一〇 七	一 一〇五 五
	二 一〇 八	二 一〇五 五
	三 一〇 九	三 一〇五 五
	四 一〇 一〇	四 一〇五 五

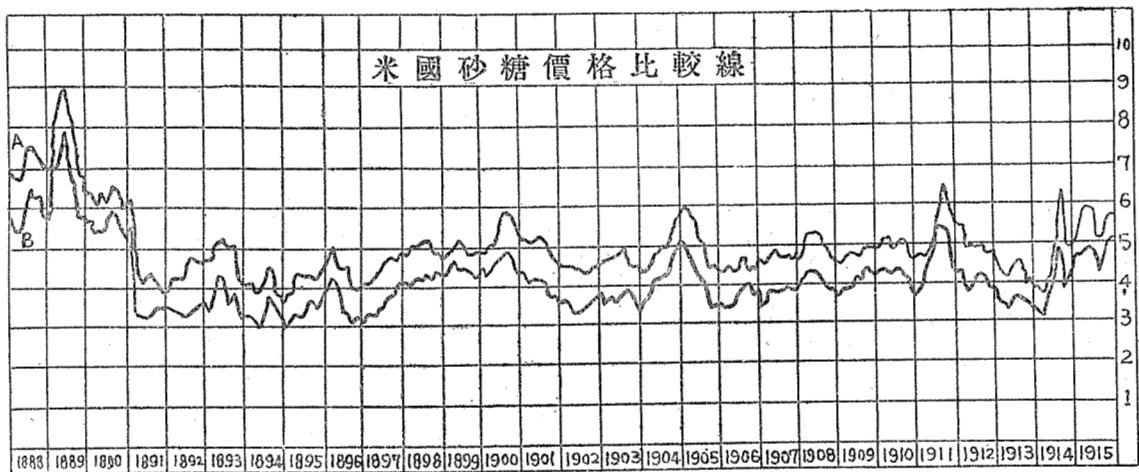
一九一一	四	一〇〇	一一〇
	一	一〇〇	一一〇
	二	一〇〇	一一〇
	三	一〇〇	一一〇
	四	一〇〇	一一〇
一九一二	一	一〇〇	一一〇
	二	一〇〇	一一〇
	三	一〇〇	一一〇
	四	一〇〇	一一〇
一九一三	一	一〇五	一一五
	二	一〇五	一一五
	三	一〇五	一一五
	四	一〇五	一一五
	一	一〇五	一一五
	二	一〇五	一一五
	三	一〇五	一一五
	四	一〇五	一一五

更らに極端なる例は U. S. Steel Corporation の鋼鐵軌道の價格に發見され得るのであつて原料なる steel billets の價格は一九〇〇年から一九一五年迄の間百封度八十仙から二弗の間を常に激しき變動を續けたるにも拘はらず steel R. R. は屯二十八弗の儘一度も變更を來さなかつたのである。其間 barb wire, smooth wire, wire nails 等 steel billets を原料とする製品の價格は billets の價格に略從つて少なからざる變化を示して居る。

總ての獨占價格が常に安定を續くることは言ひ得ないのであるが、更らに貨物によつてその程度を同じくしないけれ共、競争價格の場合よりも常に多少此傾向を示さざるは無い之れ價格決定に人為的要素の強く働けるを示すと共に彼等が最高利得以外に市場安定を重要な項目とせるを語るものである。

(三)上述通説によれば生産原價の高低は直接獨占價格の大小決定の要素となり得ない。(B・3. 參照)然し乍ら事實に於ては少くも或程

米國砂糖價格比較線



A 精糖價格線
(一封度=付仙)
B 粗糖價格線

第一圖

度に獨占價格に生産原價との間に平行がある一八八七年末米國に Sugar Trust が組織されて以後糖價變動を見るに第一圖の如くなる。精糖と粗糖との變動は常に嚴密に相一致するとは言ひ得ないが而も多くの平行を發見し得るは何等疑なき事實である。

更らに米國鋼鐵及鋼製品價格の變動を見るに左記第二圖中 A B C 各製品價格は大體に於て原料たる D の價格に比例して變動せる事を知るのである。(1895—Nails pool organized; 1896—Nailspool broken; 1899—American steel and wire Company organized; 1900—The Car-negie Company organized; 1901—U. S. Steel Corporation organized.)

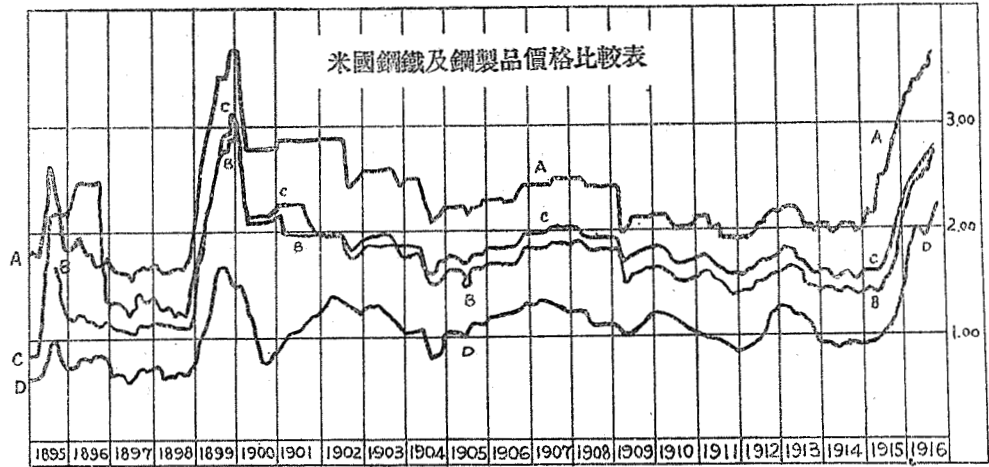
即ち通説によれば原料價格の變動は必ずしも獨占生産物價格の變動を伴はざる筈であるが上掲の事實に於ては常に兩者の間に大體平行傾向を示せるが如くである。唯多く獨占貨物の價格に至つては第二圖に見る如く原料たる D 線の烈しき上下變動にも拘はらず、製品の内 A 線は強力なる獨占企業形式なる Carnegie Company 組織後は多く卓子形の平面を示して變動の度數非常に減少するを見る。

而も尙原料價格の上下に全然無關係たるを得ない。斯の如きは如何なる理由によるか。之れ通説の誤謬を意味するよりも寧ろ説明の不充分から來る所であるを考へられる。何となれば原料品價格の高低は(特に原料品の夫は)常に一般物價の變動を伴ひ、又は平行せるものなる事は一般に承認さる可きである。故に獨占生産物の原料の價格が變動する場合に於てはそれと大體に平行して一般物價も亦變動せるものと考へられる。故に原料價格の低下せる

第二圖

米國鋼鐵及鋼製品價格比較表

A bar wire 價格線
B smooth wire 價格線
C wire nails 價格線
D steel piles 價格線
(百封度ニ付弗)



時、即ち一般物價の低下せる時に、獨占生産物の價格のみ從來の儘になし置くにせざる結果は事實上獨占生産物價格の引上をなしたるに同様であり、かくては需要の減少を來して最大利潤を得ざる事となる。これ生産原料の上下は獨占價格をも上下せしむるに至る所以であり、常に必ず相伴はざる可からざるの理由に思はれる。

(四) 更に獨占の場合に於ては、一單位の企業又は全世界を採らずして一種類の貨物又は一社會の市場を採つて之を見る時に、永續的に生産原價より以下を以て賣られる事が少ない。例へば鐵道運賃の場合の如きであつて價格負擔力に従つて (what the traffic can bear) 運賃率が決定され、生産原價によつて定められるのは無い。勿論鐵道會社全體として見る時は全運賃收入を以て全經費を支拂ひ得て尙餘剰を残さねばならぬのであるが貨物の種類を單位として見る時には、各自の支拂ひ得る負擔力に相應じて決定される。此際には一方に生産原價よりも遙かに多くを支拂はしめらるる貨物あると共に他方には遙かに小額を支拂ふものがある。貴金屬貴重品の如き高價物は前者に屬し嵩高品の如きは後者に屬する。斯の如きは鐵道の如き準獨占業に行はるるのみならず、米國 Standard oil の油製品にも亦之を見た事がある。一九一五年米國議會の調査報告書 (The Federal Trade Commission's Report on Gasoline Price in 1915) によれば Crude oil から gasoline, kerosene, fuel oil, lubricating oil を採り得るものとして、その原價並に賣價は次の如くなる。

Crude oil, 100 gallon \$ 3.40c
Refining cost " 90c } \$ 4.30c
之から出づる主なる生産品の價格は
1. Gasoline 21 gallon \$ 2.00c
2. Kerosene 35 " 1.60c
3. fuel oil 20 " 0.50c } \$ 5.80c
4. Lubricating oil 11 " 1.70c

である。かくて百ガロンの原油から一弗五〇仙の利益を得る。この原價を各生産品各ガロンに割當てる時には約次の如くなる。

1. Gasoline 21 gallon \$ 1.05c
2. kerosene 35 " 1.75c
3. fuel oil 20 " 1.00c
4. Lubricating oil 11 " 0.55c

即ち八十七ガロンの生産品中五十五ガロンは生産原價より以下を以て賣られるに反して第一と第四とは甚しく原價より高く賣られつつある事となる。これ明らかに what the traffic can bear の原則に従へるものであつて生産原價に従つて定められたるものではない。(大精油業者にあつては此四種類は何れも重要生産物であつて、何れも副生産物として扱はる可きものでない以上總てが平均に原價を負擔す可き筈のものがある。故に、小規模の場合の如き所謂 Skimming plan を以て gasoline 生産を主たる目的とし他の殘部はその原價を眼中におかず市價に従つて賣却し、僅かに gasoline 原價の輕減を計るを目的とするものこそ其趣を異にする。)而も斯の如きは第一第四の生産品が獨占的に原價に無關係に定められ得る結果として第二第三の價格が遙かに原價以下に賣られ得るのである。もし第一第四生産品の價格が競争價格の原則

利益總	賣上		格價		價原産生均平		
	量出輸	上賣地内	格價出輸	格價地内	計合	價原接間	價原接直
100,000	0	100,000	4.75	4.75	4.75	2.80	1.95
100,000	0	100,000	3.75	3.75	3.75	2.80	0.95
100,000	0	100,000	3.75	3.75	3.75	2.80	0.95

(第二三頁に續く)

英國勞働運動史概説 續

ジー・ディー・エッチ・コール
六 勞働の政治と産業的不安
(一九二一年)

社會主義思想の勞働組合運動に與へた影響は相並んでその政治方面に及ぼした影響を見るこゝが出来た。一八九二年の選舉には多くの勞働候補者が現れた、そしてケーア・ハーデイが最初の眞に獨立した勞働議員として下院議員に當選した、それ以前にも議會に勞働代表があつたけれども自由黨勞働議員であつたのである。大炭坑罷業の年たる一八九三年には、幾つかの局地的團體を包擁してブラッドフォードに獨立勞働黨が出来た。獨立勞働黨は間もなく最も有力な社會主義團體となり、直ぐに、勞働組合の政治方面に於ける活動——それが社會主義實現の主要手段とするもの——を開始せんことを勞働組合會議に促し始めた。一八九九年に、勞働組合會議は一の勞働代表委員會を設置せんとする案を可決した。一九〇〇年に、勞働組合社會主義聯合の基礎の上にこの委員會が設立された、そしてその年の總選舉にはそれは二人の議員——その一人はケーア・ハーデイ——を下院へ選出した。勞働代表委員會は、一九〇六年に『勞働黨』と名を變更した。

この時期に於ける最も重要な産業方面の出来事は、一八九三年の炭坑罷業と一八九六年の全國的機械工のロックアウトと同盟罷業の際の相互扶助のため凡ゆる産業の勞働者を結合せしむる試みとして一八九九年に『勞働組合總聯合』の設けられたことである。勞働代表委員會と勞働組合總聯合と、いづれも勞働組合會議の設立にかかるが、然しそれらは全然獨立したものである。一九〇二年に、勞働運動の全勢力は、上院に於けるタフ・ヴェール判決——勞働組合法の意味に就いての以前の凡ゆる見解に反對して、組合は組合員の契約違反その他の罪により生じた損害を賠償すべしとなすもの——により湧き立つた。この判決は運動の全地位を危殆に頻せしめた、そしてこのために起つた運動が、一九〇六年の選舉に二十九人云ふ多數の勞働議員を選出し得た一原因であつた新黨の最初の仕事は、同年の勞働爭議法を通過せしむることであつた。この法律が出来てタフ・ヴェール判決は覆され、勞働組合の基金は安全となつた。然し一九〇八年に、又一の上院の判決——オスボン判決——が、勞働組合の基金を政治上の目的に用ふるは違法だま宣ふることにより、勞働黨の存在を危くした。この判決も亦、以前からの法律解釋に全く相反したものである。組合は既に三十年以上も、何等の干渉なくしてその基金を政治方面へ用ひて來てゐたのだから。然しながら、一九一三年の勞働組合法により、この判決は一部分覆された。勞働黨は、一九一〇年の總選舉にも、ほぼ以前の地位を保つた、そして以前は自由黨議員たりし坑夫選出議員等が勞働黨に加はつた。勞働黨は、一九〇六年乃至一四年には、時の自由黨内閣に、時には反對し、時には殆んど提携してゐた。

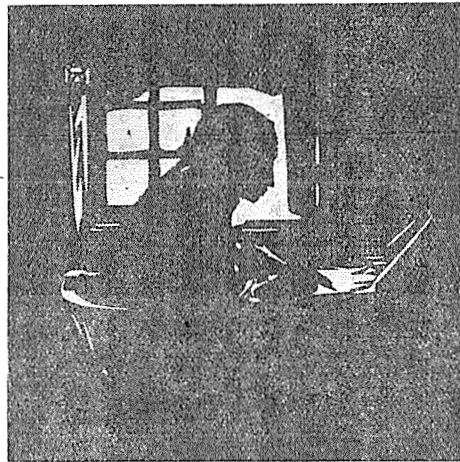
○年までは少くとも、實質賃銀は漸次減少した。この事實は、政治行動の貧弱な業績に對する多少の幻滅と相俟つて、一九一〇年乃至一四年の漸次濃厚なる産業不安の時期を現出した。新らしい産業的運動は、一九一一年の海員やドック夫の罷業で明確な形となつて現はれて大成功を収めた。直ちにこれに續いて、同年の全國鐵道罷業が起つたが、これは一部分勝利を得、勞働組合の重要な合同を齎した。全國鐵道從業員組合は、一九一二年乃至一三年に産業別の基礎の上にて設けられたもので、この組合は多少勞働組合構成の二十世紀の『新曲型』の觀あるに至つた。一九一一年の鐵道罷業に續いて、一九一二年の全國炭坑夫罷業が行はれたが、これは炭坑(最低)賃銀法でふ不満足な妥協に終つた。一九一三年の大きなダブリンのロック・アウトと一九一四年のロンドン建築工爭議とは、その後の二年間に於ける最も著しい危機で、八月に大戰の勃發がなかつたならば、一九一四年の秋は恐らく一大産業紛議の時期となつたであらう。大戰の勃發は産業上の敵對を中止せしめ戰時中の數年間は、罷業の數を烈しさが戰爭直前の數年に較べて著しく限られてゐた。然しながら、戰時中の數年間はなほ勞働組合大活動の時期であつた。著しい物價騰貴はやがて勞働者をしてそれに應ずる賃銀値上を要求するの已むなきに至らしめ、近代戰爭の特殊事情は産業の組織更えを必要ならしめたからである。工場内の『稀釋』は、『工場世話方』運動で組合運動の新らしい戰闘的型を發生せしめ、兵役や産業と物價との國家統制や外交政策の問題、これら總てが勞働運動をし

て極めて大きな役割を演ぜしめた。産業上の自由を著しく制限した法律が出来たにも拘らず勞働組合員數は極めて急激に増加した、殊に大産業に於て著しく多くなつた女子の間に増加した。戰爭が長引くに従つて、産業と政治と兩方面の不安が一層烈しくなり、社會主義運動は多くの新同志を得た。軍需品法や兵役法や王國防禦法があつたにも拘らず、戰後の勞働運動は以前よりはるその勢力を増してゐた。一九一六年以來、勞働黨は聯立内閣に閣員を出してゐた、然し休戦以後、一九一八年の總選舉の直前全くこれと訣を別つた。この年、黨も亦その組織を變え、個體と同じく個人の加入をも認め、一の新政綱を發表した。一九一八年の人民代表法は、男子の選舉權を擴げ三十歳以上の女子にも選舉權を與へることとした。

七 戰後の勞働 (一九一八年—一九三三)

一九一八年の總選舉には、一の獨立せる政黨として戰つた勞働者階級は、六十一の議席を獲得した、然しロイド・ジョージ氏の聯立政府が壓倒的多數を占めた。間もなく産業紛議が起つた。凡ゆる重要な勞働組合はその要求案を提出し、一九一九年中に資本家をして重要な譲歩を行はせた。多くの産業に於ては、一週の勞働時間は四十八時間若くはそれ以下に短縮された。然しクライド河沿岸とベルファストに於けるそれぞれ一週四十時間と四十時間間の勞働を要求する一九一九年初頭の非公式罷業は、失敗に歸した。次いで炭業危機が到來し、炭坑の固有の民主的統制を含む坑夫の要求を調査報告せしむるため炭業委員會の任命を見た。同時に政府は、産業改革の

問題を攻究せしむる目的で、雇主と労働組合員とを十分に代表せる産業會議を招集した。炭業委員會は、先づ坑夫の賃銀値上と時間短縮の要求を是認し、次いで炭坑の所有統制の問題を扱った。委員の多数派は、炭坑を國有とし多少労働者統制を認むるを以て可なりとしたが、政府はこの決定の實行を拒絶した。坑夫は今にも直接行動に出でん勢を示すに共に、労働組合會議に訴へた會議は政府をして委員會報告通り實行するの已むなきに至らしむる行動に出ることに賛成した。然し一九二〇年の初頭に至つて、會議はこの目的のために直接行動には反對し、『政治行動』に出づるを以て可なりとすに至つたので、全問題は無期限に解決を延期された譯である。一方、一九一九年九月には、賃銀の問題から一の全國的鐵道罷業が行はれた。騒ぎは非常なものであつた。政府は罷業者に反對せんため凡ゆるその資源を利用し、罷業破りをして道路交通機關や汽車を運轉せしめ、宣傳のためには莫大な金を投じた。然し政府にして譲歩せずんば爭議は更に一般的なる徴候が明かに現はれたので、遂に労働者側に有利な解決が見らるるに至つた。労働者階級の勢力はこの時にその絶頂に達してゐた。十一月の自治體選舉には、労働者階級は著しい多数を——殊にロンドンに於て——占めた。



イムヌエル・カントは千七百二十四年から千八百〇四年までの生涯を通じて其生地である東プロシヤのケーニヒスベルグを出でたことがなかつた。終生ゑることもなく書を讀み物を考へ僅かに日日の規則的な散歩に依つて書籍の塵を齎してゐた寂しい哲學者の面影をここに見る。國は彼が執筆中の影像である。

炭坑國有を目的とする同盟罷業の威嚇を撤したことは、退歩の最初のしるしであつた。同年の中頃、露波戰爭に對する英國の干涉の威嚇は労働者階級の勢力を盛り返らせた。全國的な労働諸團體により一の行動評議會が設けられ局地行動評議會も國內到處に設けられた。戰爭は防止され、労働者階級の信用は再び高まつた。然し一九二〇年の秋には、人為的な戦後景氣に續く不景氣が始まつてゐた、そして失業者の数は急激に増しつゝあつた。

同年秋の全國的炭坑罷業は、一時的で不十分な解決を見たに過ぎなかつた。

一九二一年初葉には、形勢は根本的に變つてゐた。そして労働者階級に對する激しい反動的攻撃が始まつてゐた。その最初の著しい表はそれは時期尚早の炭坑國家統制解除に續いて起つた一九二一年四月の炭坑ロック・アウトであつて、一九二〇年制定の緊急權力法により專制權を持つ政府は、労働者を敗北せしむるためその凡ゆる資源を利用した。坑夫側は三角同盟の仲間たる鐵道従業員や運輸勞

働者に訴へた。そして後二者は同情罷業の舉に出ることに決定した。然し坑夫側と他の組合側との間に戦術上の意見の扞格があつたため、三角同盟の罷業は四月十五日（『黒金曜日』）に至つて取消された。坑夫は六月末まで戦ひ續けたが、遂に困憊の極敗北を認めざるを得なかつた。一九二一年を通じて、凡ゆる職業に於ける賃銀は下落した、それは屢屢生活費より一層急激に下落した。同盟罷業をやつた場合には労働者はいよいよ悲慘な境遇に墮ちた、罷業をやらない場合にも亦その結果は同じであつた。一九二二年に於ける全國的な機械工のロック・アウト——機械工の敗北に終つた——は、炭坑罷業と共に始まつた資本家側攻勢の最高頂であつた。一方、失業者の数は百五十萬から二百萬の間を下し、労働組合の基金は手當支給のため全く涸渇してしまつた。一九二〇年末には九百萬に達した労働組合員も、急激に減少し、一九二二年には約六百萬になつてゐた。然もなほ、一九二二年の總選舉には、労働黨は百三十八の議席を獲得し、一九一八年から政治に入つた協同組合主義者も別に四つの議席を獲得した。一九二二年末には、労働運動の勢力回復が明かに始まりつつあるしが見えてゐた。

八 労働組織の現状 (一九三三)

組織労働運動には四つの主要な部門がある、産業方面、政治方面、社會主義方面、協同的方面即ちこれである。これらはいろいろな仕方方互ひに相關聯してゐる。

産業方面では、労働者は、極めて多様な仕方で衝突したり重複したり協働したりするを考へ得る凡ゆる型を構成を持つ一千以上の組合

を組織してゐる。或るものは産業別組合に近い、即ち一の産業内に働く凡ゆる種類の労働者が一の組合を作つてゐる。この種の型に屬するものは、全國鐵道従業員組合や坑夫聯合などである。或るものは、一の共通技業若く是一群の類似技業に屬する労働者のみが團結せる技業組合若くは類似技業組合である。機械工合同組合、紡績工合同組合その他多くの組合がこれに屬する。或る産業内に技業別の組合が出来てゐる場合には、全産業を包容する一の聯合が屢屢出来てゐる（建築業や印刷業など）。不熟練労働者は別に團結して多くの雜労働者組合を作つてゐるが、これは近年著しく發達し、今や聯合して雜労働者全國聯合を設けてゐる。個々の組合数は極めて多いにも係らず、労働運動の實勢力は多く、比較的少數の極めて大きな組合や聯合の掌中に集つてゐる云ふことが出来る。

産業方面の中央機關は労働組合會議であつて、これには殆んど總ての大組合が入つてゐる。それは今や約六百萬の労働組合員中の五百萬以上を代表する。それは一九二〇年乃至二一年に、全労働組合運動のため『總幹部部』で中央指揮者を作り且つ労働黨との密接な提携を確保することを目的とする一の調整案を可決した。局地的には、労働組合の支部が労働評議會により調整されてゐる。然し産業方面では、基金と調整との缺乏のため多くは微力なこれらの團體は餘り十分に利用されてゐない。過去數年間の顯著な傾向は、非筋力労働者間に於ける労働組合の發達であつて、それらの組合は一九二〇年以來自由職業者聯合をつくつてゐる。

政治的には、労働組合を幾つかの社会主義團體が聯合して労働黨をつくり、多くの選挙区には局地労働黨を設けてゐる。大きな政策上の問題殊に國際問題に就いては、労働黨と労働組合會議とが提携して活動する傾向が漸次大きくなりつつある。

主なる社会主義團體は、獨立労働黨と一九二〇年の創立で舊英國社会主義黨を併呑して出來た共產黨である。社会主義運動は今や政策の問題殊にボルシェヴィズム若くは共產主義の問題に就き著しく意見が分れてゐる。ロシア革命後は、極端派が急激に勢力を占めて來た。この争ひは現在に於ては事實上總ての諸國で起つてゐるところである。共產黨は労働黨へ加入を申込んだが、拒絶された。それは一九二二年の總選挙に一人の議員を出した殆んど全英國に普き小賣組合内に四百萬の加入者を持つ協同組合運動は、三つの異つた目的から全國的に聯合してゐる。卸賣組合（及びスコットランド卸賣組合）は局地組合の聯合で莫大な卸賣取引や大生産工場や自己の銀行並びに保險部や大きな國際取引を有する。協同組合同盟はもつと包括的な聯合で、その中には當に局地並びに卸賣組合のみでなく又生産者組合や女子並びに男子ギルドが入つてゐる。毎年開くその協同組合會議によつて、それは協同組合運動の宣傳的並びに教育的方面を代表する。一九一八年の會議によつて設けられた協同組合黨は、普通には各選挙區で労働黨と提携して働くけれども、正式にこれに加入してはゐない。かくの如く最近協同組合運動が政治に入り込んだこと、産業上の目的で労働組合運動と協同組合運動とが一層

密接な關係を持つに至つたことは更に重大な發展を見せるに至るであらうと思はれる。然しながら、近年になつて協同組合とその用人との間に大きな紛議が起つて來た、そしてこれが兩運動間の完全な相互了解を妨けてゐる。女子協同組合ギルドは、女子協同組合員を代表する一の重要な教育的並びに宣傳的團體である。

労働運動のいづれの部門に於ても、その組織を眞に有効にし若くは前途に横はる使命に適せしめるためには、なほなざるべく殘されたことは極めて多い。

九 現在の社会理論

労働組合の方針は、近年に於ては全く一の確乎たる方向——『産業統制』に眞の参加權を得たいとの要求——に向つてゐる。このことは『國有』の問題に對する態度の變化に最も明かに表れてゐる。前世紀の九十年代以來、社会主義と労働組合運動とに共通なものになつてゐる公有の要求に、今や産業の『民主的統制』若くは『労働者統制』の要求が結びついてゐるのである。一九一九年の炭業委員會に提出された坑夫聯合の要求は、この新方針が最も明かに労働組合により表明された例である。過去十年間の新社会主義運動も總てこの要求を勢づけてゐる。戦前に於けるサンディカルズムや産業別組合主義、工場世話方運動、ギルド社会主義等いづれもこの方面で同意見であるし、獨立労働黨の如き舊社会主義團體もこの新要求を認めるやうになつて來てゐる。全國ギルド同盟を通して活動するギルド社会主義者マルクス派産業別組合主義者は、それぞれ違つた立場から、この新要求の最も

活潑な宣傳者となつて來てゐる。英國労働組合運動のこれらの發達は、他の諸國に於ける社会主義思想の發達とも非常に似てゐる。他方に於て、一派の協同組合理論家は、協同組合によつて行はれる消費者の産業統制に賛して生産者統制の要求はこれを排する傾きがある。

一九二〇年乃至二二年には、ギルド即ち労働組合の基礎に立つ自治的生産者組合が、幾つかの産業（建築や家具や衣類や機械など）に於て労働者により起された。殊に建築業に於ては、それらの組合はギルド社会主義の考へを實地に行ふものとして多大の注意を惹いた。最近には、ロシア革命によつて齎された新狀態のため労働運動全般に涉つて非常な議論が起つて居り『ソヴェット制度』と『無産階級獨裁』とを主張する共產主義に就いて著しい意見の相違が生じてゐる。革命主義者たる共產主義者は、進化的政治的社會主義者とは全然見解を異にする。そして兩者の中間に、未だ適當な表現を見出さない多くの見解があるのである。

本文の如き概説に於て、互ひに相反する社会主義の理論や政策を論ずること又はその包含する目前の政策に關する二三の重要問題を述べる以上に出ることは不可能である。主要な問題は先づ次の如きものであらう。

(一) 革命の問題。如何なる範圍まで労働の政策は大變動的革命的行動に向けらるべきか、そして如何なる範圍まで立憲的な若くは普通の産業的な行動に向けらるべきか？

(二) 國家に對する労働の態度。國家はこれを占領し顛覆すべき階級支配の機關と見做さるべきか、將た又立憲的議會的行動によつて占領し後社会主義實現のために用ふべき社會機構の一部と見做さるべきか？

(三) 産業方面に於ける労働の政策。産業の民主的統制の理想實現のため労働は次に如何なる手段を探るべきか？ 或る種の職業に於て行はれてゐるギルドの方法は一般に適用し得べきや否や？

(四) 『直接行動』の問題。労働が政治的目的のためその産業上の力を利用し、同盟罷業により國家を壓迫するは正當なりや？

(五) 議會的行動の問題。労働はその政治的武器を如何に利用すべきか、そして議會に於ける労働代表の探るべき政策は如何なるものなるべきか？

(六) 國際主義の問題。國際政治上の問題に就き労働は如何なる態度を探るべきか、又外國の労働運動や國際的社會主義に對するその關係は如何？

十 國際的労働運動 (一八四七—一九二〇)

國際的社會主義が最初に明白に述べられたのは、一八四七年マルクスとエンゲルスの書いた共產黨宣言の中にある。然しながら、有效な國際的組織が出來たのはそれよりすつと後のことであつた。

第一社會主義國際労働者協會は、一八六四年にカール・マルクス起草の創立宣言によりロンドンに設立された。それは最初、大陸の社会主義と共に英國の労働組合幹部をも含んでゐた。然しながら、後者の大部分は、協會の方針が一層明かに革命的になるに脱退した。間もなく軋轢が、殊にマルクスの弟子ミバク

ニンのそれとの間に起つた。本部はロンドンからアメリカへ移されそこで第一インタナショナルは一八七六年なくなつた。第二インタナショナルを設けんとする運動は、第一回の國際社會主義者大會のパリで開かれた一八八九年に始まつた。一九〇〇年には、大會の結果一層永久的な國際社會主義事務局が出来、その本部は一九一四年にはベルギーに、戰時にはオランダにあつた。事務局は今やロンドンへ移されてゐる。英國勞働黨は、他の社會主義團體と共に、これに加入してゐる。一九〇一年には、第一回の常規的な國際勞働組合會議が開かれた、尤もこれ程正式でない會議はすつと前から開かれてゐたけれど。一九四一年の會議の結果、國際勞働組合が出来た。英國勞働組合總聯合はこれに加入してゐたが、勞働組合會議は加入してゐなかつた。この聯合の本部は戰前はドイツにあつた。又大概の主要産業の勞働者——坑夫や織物職工や金屬職工や運輸勞働者や郵便従業員その他多くのもの——は、各自國際的な聯合をつくつてゐた。その多くはドイツに本部があつた協同組合運動は、一八九五年設立の國際協同組合同盟により、國際的に結合してゐた。大戰は、國際的な勞働組織の局面に大變化を齎した。なるほど國際協同組合同盟は大體は舊のままであるが、然し今や一の國際卸賣組合の計畫が起つてゐる。主なる卸賣組合の共同委員會は既に存在するのである。國際勞働組合聯合と多くの個々の産業的聯合とは改造された、そして農業方面のそれを含む幾つもの新しい聯合が出来て來た。英國の勞働組合會議は勞働組合總聯合と共に、今や國際

勞働組合聯合に加入してゐる、この國際聯合の中心は現在ではアムステルダムにある。然しながら、今や國際的社會主義は、ロンドンを中心とする改造された第二インタナショナルミモスコウを中心とする新しい第三（共產主義）インタナショナルに明かに分れてゐる。殆んど何れの國でも意見は著しく分れる。重要な團體の幾つかは現在こちらのインタナショナルへも加入してゐない。この分裂は産業方面にも影響を及ぼし、一の『赤色勞働組合國際聯合』が出来て、アムステルダム國際聯合に烈しく反對してゐる。或る國國殊にフランスでは、勞働組合運動は共產主義者ミ反共產主義者との争ひのため二つに分裂してゐる。狀態は時時刻刻に變化しつつあるからこれが叙述を試みるは無益である。ここでも亦二三の問題を提起し得るに過ぎない。なほ主要な問題は前節の終りに述べたものと同じい。

(一) 一の包括的な社會主義 インタナショナル
は可能であるか？

(二) 國際的な(一)社會主義(三)勞働組合(ハ)協同組合諸團體のそれぞれの正當な職分は何か？

(三) 第二第三兩インタナショナル間に争はれてゐる眞の問題は何か？

十一 勞働と教育

セツトルメントや
ワーキングメン・スーパージ
や成人學校等が勞働者階級に教育を與へんこ
する企ては以前から澤山あつたけれども、勞
働者自らが統制し指揮する教育運動が起つた
のは比較的最近のことである。近き將來に於

てかかる教育が大發達を遂げるであらう。その要求は急激に大きくなりつつあるし、又労働運動もこの方面に於けるその責任を感じつつあるから。現存せる主なる學校としては先づ、二つの寄宿制學校即ちオックスフォードのラスキン・コリτζミロンドンの労働學校ミレーバコフツのラスキン・コリτζを除いて總ての學校は、その立場が主としてマルクス主義的である。ラスキン・コリτζは、その學校事業の外に一大きな通信教育部を持つてゐる。稍趣きを異にするのは、全国各地の支部に多くの労働組合や他の労働團體を加入せしめてゐる労働者エデュシヨナルソシエシヨナル・カンパニイ・オブ・オズワーストンの労働學校評議會を通して、全国各地に於ける多くの（大抵は非寄宿制の）獨立労働者階級教育を目的とする學校や評議會と連絡をこつてゐる。ラスキン・コリτζを除いて總ての學校は、その立場が主としてマルクス主義的である。ラスキン・コリτζは、その學校事業の外に一大きな通信教育部を持つてゐる。稍趣きを異にするのは、全国各地の支部に多くの労働組合や他の労働團體を加入せしめてゐる労働者エデュシヨナルソシエシヨナル・カンパニイ・オブ・オズワーストンの労働學校評議會を通して、全国各地に於ける多くの（大

の問題に勞働運動の意見を集中させる宣傳團體たるに同時に、自ら若くは各種の大學教育普及學級や地方教育廳や教育局やに共同で學級を組織するための團體である。勞働者教育

會は、「余は卒直たらんご約束するも、不偏不黨たらんご約束し得ず」を標語とするブルース同盟から、その「不宗派的、不政黨的態度を攻撃されてゐる。同會は幾つかの勞働組合と共同で、一の勞働者教育勞働組合委員會——勞働組合に特別の教育設備を供する機關——を設けてゐる。協同組合運動も亦重要な教育事業をやつて居り、これと勞働者教育會と

(以下第一三頁に續く)

新刊紹介

訂全
擔保
物權
法

法學博士 三瀨信三著

擔保物權法は實用と云ふ見地からして極めて重要であると同時に其理論に於て數多くの難問を藏して居ることは法律學を學ぶものの直ちに感ずるところである。然るに斯法に關する著書は我國に於て極めて數少く殊に之を徹底的に研究したものに至つては茲に紹介する三浦博士の著書の外にあまり多くはない。本書が出版以來既に十四版を重ねるに至つた事は以て其が如何に斯法研究者の渴を醫へ來つたかの一證左である。

本書は主要なる立法例、學說、判例等を比較研究し其の豊富なる材料を以て我現行法に付き穩健なる解釋論を試みると共に立法論にも論及して居る。我民法の擔保物權に關する規定は或は獨法に據り或は佛法に則り所謂綴錦の感み與ふもので其研究も容易でない。今本書が新なる學說判例を加へ訂正を施し博士の其後の研究の結果を加へて世に出でたるは學界の爲め慶賀に堪えぬ。博士には別に物權法提要の著があり本書と相俟つて物權法全般に亘る著者の統一せる學說を知ることが出来る。

尙茲に特記すべきは外國語の術語の引用が豊富なる點である。英、獨、佛、伊及び羅典の諸語を合んで居り讀者は之により不知不識の間に外國の術語に親しみ外國法研究の上に多大の助けを得る著者には獨逸語に關する著書もあることを知る評者は博士の語學力の豊富なことに敬服して居る。

全訂第十四版の出でし機會に於て敢て法律研究者諸君に推奨する次第である。(定價六圓、有斐閣發行)

S・T生

學 內 報

第一學期授業終了

本學年度第一學期授業を左の通り終了した。

學部各部各學年共 七月四日限

大學豫科各學年共 同

專門部各科各學年共 七月七日限

專門部豫科 七月三日限

附屬第二商業學校 七月三日限

第一學期試驗施行

本學年度第一學期試驗を左の通り施行した。

大學豫科 自七月八日 至七月十四日

專門部豫科 自七月八日 至七月十四日

第二商業 自七月八日 至七月十三日

本學理事新任

昨年末逝去した柿崎理事後任

として今回協議員喜多村桂一郎氏が本學理事に選任せられた。

本學新協議員選任

今回新たに左記諸氏を本學協議員に選任した

岩崎卯一、沖中恒幸、武内省三、村上喜貞、烏賀陽然良、古田吉五郎、佐々 穆、木村 清、宮本英脩、水谷揆一、澁川千之助、(イロハ順)

本學關係市議當選者招待會

過般の大阪市會改選に於て大阪市會議員に當選した本學關係者諸氏を、去月二十七日市内東區大阪俱樂部に招待して祝意を表した。

本學關係者の大阪市會役員當選

過般の大阪市會改選に際し本學關係者中の數氏が新に大阪市會議員に當選したことは既報の通りであるが、これ等の諸氏の中その後更に左の通り大阪市會の役員に選任せられた。大阪市會議長 本學理事 白川朋吉氏



助徳崎宮たれらせ附寄を費書圖に學本 (照參事記號六十二第) 氏松普故父嚴氏

同 參事會員 本學校友 杉野乙次郎氏
同 學務委員 本學講師 森下政一氏

第三回夏期語學講習會開催

本學第三回夏期語學講習會を例年の通り左記に依り本月二十日より八月八日まで本學福島學舎に於て開催することになった。
一、聽講者 男女を問はず入會を許し、女子聽講者のために特別席を設け、尙ほその

數多き時は別に女子部を置く。

二、組 織 英語、佛語、獨語の三科を置き英語科は更に中等及び高等の二科に分つ三、授業時間 各科共午後六時より同八時までとし、英語高等科に限り晝間部(午前七時半より同九時半まで)を置く。

四、講 師 本學專任教員中左記諸氏が各擔任する筈である。

英語科——村上喜貞教授、櫻井匡教授、佐々穆教授、松田一助教授

佛語科——三田直吉講師

獨語科——中村鄧次郎教授、大立目重虎講師

千里山親睦會例會開催

本學專任教員中の有志から成る千里山親睦會では本月十四日午後四時から、箕面公園内豊田屋に於て例會を開催した(詳細後報)。

ガウエン教授からの來信

昨年十一月十日附で、會て本學に立寄り一場の講演をせられた北米ワシントン大學教授、ハーバート・エッチ・ガウエン博士が、本學宮島教授に書を寄せて、同大學の寫眞數葉を贈られる旨申越されたことは、當時本誌上に報道した通りであるが(第二十五號、第十四頁参照)、今回約束通り、同大學主要建物の寫眞數葉を左記書信と共に、前記宮島教授宛てに送付せられた。

March 12, 1925.

My dear Professor Miyajima,

After long delay I am enclosing, with my best wishes, 3 photographs of some of our University Buildings. I was wishing for

some new photographs to be taken. I hope yet to find something better. When our new Library Building is finished I will send a photo of that.

Yours very sincerely,

Herbert H. Gowen.

右抄譯

大變遅くなりましたが、弊學の建物の寫眞を三枚お送り致しました。何か新しい寫眞が取れたら望んでゐたのですが果されませんでした。然し弊學の新圖書館が完成した節にはその寫眞をお送りしたいと思つてゐます。

轉 居

這般本學理事垂水善太郎氏は

大阪府三島郡千里山千里通へ

又本學助教松本二氏は

大阪府三島郡千里山二〇三へ

何れも轉居した。

(第二頁より續く)

は、全國各地に開く冬季學校の外一群の夏季學校を開催する。ラスキンコリチも亦一の勞働組合夏季大學を有する。勞働運動のための通信部調査部出版部として働き、數百の勞働組合や協同組合や他の勞働團體を加入せしめてゐる。勞働調査所も亦、重要な教育事業を行つてゐる。(完) T・Y生譯

正誤——前號第六頁第四段第十七行乃第十

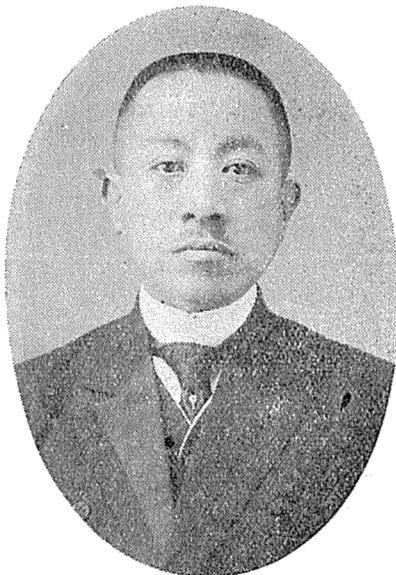
八行「それは屢機械に對する『リユウダイト』の襲撃」あるは、「それは屢機械に對する『ラッダイツ』の襲撃の誤につき訂正する

校友の面影

▲大阪市保健部保健課長 村尾 靜明氏▼
明治三十七年法律科出身

氏は鳥取市の産、本學卒業後文官試験に及第し翌年大阪府警部に任ぜられ轉じて知事官房に入り秘書として犬塚、大久保兩知事に仕へた。大正四年に玉造警察署長に補せられ同六年警視に昇進爾來會根崎、難波、九條の各警察署長を経て消防課長となつたが同十年致任して大阪市に入り社會部事業課長、土木部庶務課長を経て現在に至つてゐる。一日氏を市廳舎に訪へば

『近代都市の發展は駭異乎として底止するところを知らない状態にあり、従つて其行政も亦日に月に廣汎、複雑に趨きつつあります。就中市民の健康保持に關する諸施設は市民生活に直接の影響を及ぼす重要な問題と云はねばなりません。而して此等の施設たる單に消極的施設に止まらず大いに積極的に經營すべきは時代の要求であります。幸ひ我が大阪市は從來他都市に卒先して孤兒院、産院、衛生試験所、結核療養所等を設立し、年年内容の充實、規模の擴張に努めつつあるの外、汚物處理、墓地、火葬場、屠場等をも拮据經營して居ります。又一般的療養機關として市民病院も近く開院せらるゝとして居ますし、斯くて市民の健康と市民生活の福祉が益増進されることはお互ひ大慶の至りに堪



氏 明 靜 尾 村

えないところであります。殊に先般多年の懸案であつた大阪の實現を見まして益々職責の重荷を感じますが、かうした重要な職務に携はつて市民生活の厚生に努力するに云ふことは私共のひそかに抱く恃恃でもあります。今一般一層の奮勵を期してゐます。氏は穩かにしかしながら力強い語調を以て最後の句を結んだ。

氏が過去の官吏生活に於いて爲し遂げた業績は其主なるものを擧げて三に止まらない即ち知事官房時代には特に命ぜられて簿冊の整理を斷行し全部縦置き保存法に改めた。官

公衛の簿冊を縦置きに改めた濫觴である云はれてゐる。又は大正四年には大阪府下特別大演習の記録を編輯し同七年には所謂米騒動の間を通して難波警察署長の要職にあり少からぬ功をあらはした。超えて同九年消防課長時代には大阪府消防機關の第一期擴張を遂行した。尙ほ此の外に我國指紋法が未だ一般に理解せられないのを慨して著した『指紋法要義』の著述もある。

年齒漸く四十三益出でて益多能なる氏の將來に多大の望を屬するものは單り吾人のみでないであらう。

柿崎記念文庫設立就に就て

關西大學理事として永年盡瘁せられた柿崎欽吾氏が昨年十二月長逝せられたことは私共の痛惜に堪ぬ所でありあります。就ては今回同學に對する故人の功德を永久に記念する爲め同志相謀つて左記の事業を遂行いたしたと存じます。何卒微衷を諒せられ該事業に御賛同下され御高援を仰ぎたく御懇願申上げる次第であります。

- 記
- 一、柿崎記念文庫を設け之を關西大學に寄贈すること
 - 一、右に要する資金は之を大方各位の喜捨に仰ぐこと、但し便宜上一口を金五圓とする
 - 一、書籍の購入に關しては發起人に御一任願ふこと
 - 一、事業の經過は關西大學發行千里山學報誌上に於て御報告申上げる
- 大正十四年六月 柿崎記念文庫設立發起人一同

柿崎記念文庫資金寄附申込者芳名(續)

五	一	三	五	五	一	五	四	三	五	二	五
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
一口金五圓 (申込順)											
岩下清周氏	米山梅吉氏	原田六郎氏	烏賀陽然良氏	小倉正恒氏	中田錦吉氏	阿部彦太郎氏	水島鐵也氏	武田藏之助氏	堀田宗一氏	矢野慶太郎氏	關英太郎氏
田邊信太郎氏	中田英太郎氏	堀田宗一氏	矢野慶太郎氏	關英太郎氏	堀田宗一氏	矢野慶太郎氏	關英太郎氏	堀田宗一氏	矢野慶太郎氏	關英太郎氏	堀田宗一氏
二	二	一	二	二	二	二	四	四	四	三	四
口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口
松元千代助氏	新町徳之氏	武田宣英氏	山口覺二氏	岩岸巖氏	楠本長三郎氏	大阪商業會議所	木村彦右衛門氏	乾政彦氏	增山忠次氏	住友吉左衛門氏	中島政藏氏
松本長三郎氏	大阪商業會議所	木村彦右衛門氏	乾政彦氏	增山忠次氏	住友吉左衛門氏	中島政藏氏	松本政治氏	長尾藤三氏	川崎齊一郎氏	村田省藏氏	堀敬次郎氏
(以下後報)											

校友彙報

東京支部春季總會

去る五月十三日午後五時から東京日比谷公園松本樓に於いて、本學校友會東京支部春季總會が開催せられた。當日は特に松本學長も出席し松澤幹事は開會の挨拶に次いで松本新學長歓迎の辭を述べた。後會員各自の三分間演説あり後藤氏は松本學長が其間然するところなき學識人格を以て母校の爲めに盡力せられんことを希望する旨を述べ歡談數刻一同興を盡して散會した。

當日の出席者次の通りである。

松本蒸治氏、水上長次郎氏、山内確三郎氏、佐竹三吾氏、武田宣英氏、野崎勇二郎氏、後藤武夫氏、阪本素魯哉氏、作間耕逸氏、山田善之助氏、牧野充安氏、松澤卓規氏、友次壽太郎氏、三森武雄氏、藤田和夫氏、水上孝正氏、野崎七郎氏、岡本四郎九氏

三九會例會

明治三十九年度卒業生からなる三九會では去る六月十八日午後六時から堂島ビルディング内清交會に於いて第十三回例會を開催した。出席者二十一名、デザート・コースに入るや幹事松本靜史氏は立つて開會を宣し引續いて會員遠部逸太郎氏の大坂辯護士會副會長當選、同森英之助氏の大坂市會議員當選、及び同野村吉藏氏の關西大學幹事長就任につき會員一同を代表して祝詞を述べ、之に對し右三氏より各一場の挨拶があつた。後遠部逸太郎氏

の提議に依り會員の冠婚葬祭に際しては本會より適當な精神的慶弔の方法を講ずること、並びに常任幹事野村吉藏氏に對し其勞を慰する爲め本會より記念品を贈ることを決議して午後十時散會した。

因に當日大阪放送局常務理事たる會員平岡啓道氏よりラディオの寄贈あり一段の興を添えた。當日の出席者及び次回幹事は次の諸氏である。

出席者：岩本政市氏、今田光匡氏、馬場太熊氏、遠部逸太郎氏、高村久之助氏、谷田諸十郎氏、村井治三郎氏、野村吉藏氏、篠下吟次郎氏、藥師寺一氏、松本靜史氏、眞珠清彦氏、鮎子多正雄氏、古田吉五郎氏、兒玉善吉氏、行森啓三郎氏、水野醇三氏、平尾藤平氏、平岡啓道氏、森田梅吉氏、森英之助氏、(イロハ順)

中川校友の來信

先般經濟學研究の目的で渡米した校友中川庸太郎氏は過日無事シヤトルに着し次の如き通信を宮島事務所に寄せた。

『拜啓本日無事シヤトルに到着仕候出發に際してはセリグマン教授への紹介狀難有く頂戴仕候丁度コンビヤ大學在學の法政大學出身の友人を得、今日明日シヤトル見物の上明後日紐育へ向け出立の豫定に有之候遙に御多祥祈上候 匆匆』

校友勳靜

山田榮次郎氏(明三九法)今回臺北刑務所看

守長に任ぜられた。

小泉要三氏(大一一法)今回同志西區土佐堀橋南詰西入大阪府産業ビルディング内に於いて會計士事務所を開いた。

松岡爲吉氏(大一一法)兵庫縣御影町宇上弓場に於いて松岡法律會計事務所開業。

増田定治氏(大一一法)来る七月十五日福井縣宮崎村素封家の令嬢華燭の典を舉ぐる由である。

遠部逸太郎氏(明三九法)今回大阪辯護士會副會長に當選。

上島信敬氏(明三九法)從來市電鶴町運輸事務所長であつたが、此度名古屋市電氣局運輸課長に榮轉することになった。

竹田正輝氏(大一一法)今回古河銀行南船場支店長代理に任ぜられた。

中塚正信(大一一法)此度新に姫路市元源寺前四九に法律事務所の姫路支所を置いた。

校友住所移動

前田 武(大一一法)東淀川區十三東ノ町 〇 四帝國自治研究會大阪支部

中塚 正信(大一一法)北區堂島中二丁目 〇 東京市京橋區南船場町九

柴 武(大一一法)西淀川區海老江町九八三 〇 二仙田氏方

長 楚友市(大一一法)愛媛縣伊豫郡北山崎村宇三島町

大久保 健造(大一一法)奈良市林小路杉野氏方

仲 野 英(大七商)東京市麴町區紀尾井町三

榎岡佐平次(大一一法)兵庫縣川邊郡小田村堤ヶ島字大町五〇

濱崎保太郎(大一一法)和歌山縣西牟婁郡田邊町字湊九七

巽 鐵太郎(大一一商)港區石田外村町一丁目六 住吉區天王寺町 〇六六

行森啓三郎(明四二法)港區三軒家市場通一丁目六九

今田 光匡(明三九法)天王寺區烏ヶ辻町

馬場 太熊(明三九法)北區中野町二丁目三六

山本 小一郎(明四四法)東京府北豐島郡上尾久町一三七九

赤澤 萬歲(大一一法)三島郡吹田町大正館内

吉本 彦次(大一一法)高市市鷹匠町吉本法律事務所

花井 壽造(大一一法)東區石町一丁目三二

安達 誠三(大一一法)東京府下大森町丸運運送店

福島 修也(大一一法)神戸市下祇園一八二

楠山 秀太郎(大一一法)天王寺生玉町五六

山根 龍藏(大一一法)北區堂島船大工町

三島 律夫(大一一商)北區角田町九

近藤 政治(明三三法)和歌山縣湯淺町

門山 廣尙(大九法)東京市外青山町七、一

吉田 敬治(大一一法)小池氏方

下 許保正(大一一法)港區南八幡屋町二丁目二

綾木 茂太郎(大一一法)岡山市西小町一一五

駒 杵秀男(大一一法)中國水力電氣株式會社

大一一法 有井止輝 竹田正輝

校友改姓名

校友逝去

大正十四年三月二十五日 日本榮次郎氏

大正十四年六月三十日 米本榮次郎氏

大正十四年六月三十日 玉島貞治氏

イロハ順

一口金五拾圓

岡田利雄 三野莞爾氏

加藤金次郎氏
石原信次氏

[illegible]

富田潤次郎氏	大畠秀雄氏	尾崎榮三氏	岡本竹松氏	岡島澄男氏	大島義策氏	岡田善男氏	小川英三氏	大橋藤吉郎氏	大嘉田良一氏	小川言吾氏	若杉繁生氏	鷺塚新氏	梶原太壽郎氏	加藤保一氏	梶崎義男氏	鎌田章氏	河野悅數氏	角脇重治氏	片山多米夫氏	片山昇氏	神谷雅太郎氏	吉本銀六氏	吉松俊之助氏	横田敬治氏	武林鶴夫氏	竹林直信氏	異千代造氏	多賀信造氏	竹谷謨貴氏	田淵正照氏	田村修輔氏
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	------	--------	-------	-------	------	-------	-------	--------	------	--------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

[illegible][illegible]

[illegible]

一	口	同	一四專商	玉石可一氏	一口	同	酒井猛夫氏	金貳圓也	明四二法	日向幸藏氏	金貳圓也	明三二法	垣內兼吉氏
一	口	同	津田道之助氏	一口	同	笹部竹次郎氏	金貳圓也	明三三法	柳川茂十郎氏	金貳圓也	大二二法	清水兵衛氏	
一	口	同	塚本康吉氏	一口	同	北阪正三郎氏	金五圓也	明四四法	近藤政治氏	金貳圓也	大三三法	中山德太郎氏	
一	口	同	長尾長治氏	一口	同	北見種造氏	金貳圓也	明四四法	林經夫氏	金貳圓也	大三三法	櫻井喜三治氏	
一	口	同	村上勝治氏	一口	同	皆野五一氏	金貳圓也	明四四法	辰巳寅藏氏	金四圓也	大三三法	長島重五郎氏	
一	口	同	向井和三氏	一口	同	三井矢作氏	金貳圓也	明四四法	吉川常三郎氏	金貳圓也	明三三法	竹內靜衛氏	
一	口	同	鷗谷淑彦氏	一口	同	三橋克巳氏	金貳圓也	明四四法	山本晉次郎氏	金貳圓也	明四三法	福武忠雄氏	
一	口	同	裏野三治氏	一口	同	三輪一郎氏	金貳圓也	明四四法	石黑純氏	金五圓也	明四三法	吉川重殷氏	
一	口	同	久保辰雄氏	一口	同	白岩茂文氏	金貳圓也	明四四法	奧野彌一氏	金貳圓也	明四四商	野々村弘氏	
一	口	同	久保政雄氏	一口	同	茂野富士憲氏	金貳圓也	明四四法	岡崎祐廣氏	金貳圓也	講師	新町德之氏	
一	口	同	山本春三郎氏	一口	同	島田市太郎氏	金貳圓也	明四四法	田村淺一氏	金貳圓也	明三三法	田守格氏	
一	口	同	榊本慈平氏	一口	同	平井清氏	金貳圓也	明四四法	勝谷武夫氏	金貳圓也	明三三法	武田宣英氏	
一	口	同	山下梅吉氏	一口	同	廣田武夫氏	金五圓也	明四〇法	山本仲次郎氏	金貳圓也	明三三法	平工威夫氏	
一	口	同	山本左一氏	一口	同	日高正氏	金貳圓也	明四一經	中谷岩夫氏	金貳圓也	明三三法	笠置亮氏	
一	口	同	山內清三郎氏	一口	同	平井吉春氏	金貳圓也	明四二法	近藤賢次氏	金貳圓也	明四二商	近藤淳一郎氏	
一	口	同	榊岡佐平次氏	一口	同	東村忠雄氏	金貳圓也	明四三法	十河政市氏	金貳圓也	明四三法	長谷川安治氏	
一	口	同	松村義雄氏	一口	同	廣瀬孝通氏	金貳圓也	明四四法	竹內將英氏	金貳圓也	明四四法	古市賢太郎氏	
一	口	同	松本孝氏	一口	同	鈴木一男氏	金貳圓也	明四四法	廣澤政太郎氏	金貳圓也	明四二商	廣谷英造氏	
一	口	同	松岡繁晴氏	一口	同	末村節男氏	金貳圓也	明四四法	石塚清氏	金貳圓也	明四二法	禰澤俊二氏	
一	口	同	松葉德助氏	一口	同	金貳圓也	金貳圓也	明四二法	草深六治郎氏	金貳圓也	明四二法	禰澤隆一氏	
一	口	同	古郡恒雄氏	一口	同	金貳圓也	金貳圓也	明四二法	水本信夫氏	金貳圓也	明四二法	河野通雄氏	
一	口	同	藤井春一氏	一口	同	金貳圓也	金貳圓也	明四二法	新町德之氏	金貳圓也	明四二法	谷岡登氏	
一	口	同	後藤英司氏	一口	同	金貳圓也	金貳圓也	明四二法	松原與七郎氏	金貳圓也	明四二法	奧村乙吉氏	
一	口	同	近藤信太郎氏	一口	同	金貳圓也	金貳圓也	明四二法	廣川正氏	金貳圓也	明四二法	大越務氏	
二	口	同	小林義一氏	一口	同	淺井明氏	金五圓也	明四二法	合田賢氏	金貳圓也	明三七法	田畑留七氏	
二	口	同	小林喬氏	一口	同	磯田衆三郎氏	金貳圓也	明四二法	山本小一郎氏	金五圓也	明四二法	氏出藤平氏	
一	口	同	出來島丑藏氏	一口	同	佐藤政隆氏	金貳圓也	明四四法	田村芳太郎氏	金貳圓也	明四二法	氏家厚太郎氏	
一	口	同	有本壯吉氏	一口	同	糸島實太郎氏	金貳圓也	明三六法	中江濟氏	金貳圓也	明四一法	守屋伯市氏	
一	口	同	赤澤萬歲氏	一口	同	川崎齊一郎氏	金貳圓也	明三八法	江藤勝美氏	金貳圓也	明四一法	淺香新太郎氏	
一	口	同	澤田善次郎氏	一口	同	並平生駒氏	金貳圓也	明一經	正田伊三郎氏	金貳圓也	明四一法	久松幸三氏	
一	口	同	酒井實雄氏	一口	同	岡山福四郎氏	金貳圓也	明四三商	山口直三郎氏	金貳圓也	明四二經		
一	口	同	佐伯弘氏	一口	同	尾川隆二氏	金貳圓也	明二法				(以下後報)	

學生彙報

神戸高商を屠る 六月十日午後三時半から寶塚球場に於いて球審孫壘審片岡兩氏審判の下に神戸高商と戦ふ。高商軍先攻で開始したが本學森四投手の好投に打撃を封ぜられ往年の覇者神戸高商軍も遂に十一 A 對二で本學の軍門に降つた。

和歌山中學より招聘　六月十二日午後三時半から和歌山中學野球部後援會招聘の下に和歌山中學校庭に於いて同中學軍と戰つたが結局A十對三で本學の勝利となる。和中軍は森田投手の球に對して僅に三安打を得たに止まつた午後九時五分一同無事歸阪した。

秋期リーグ戦の割決定　去る六月十九日午後二時から大阪毎日新聞社樓上に於いて三校聯盟マネージャー會議が開かれ今秋のリーグ戦日割を次の如くに定めた。

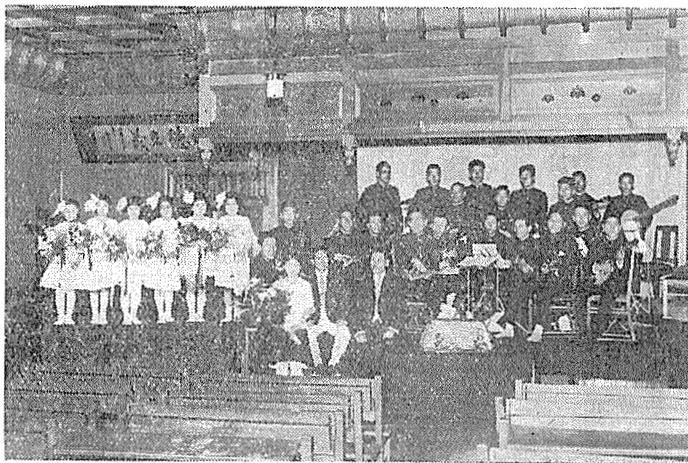
十月十一日	對同志社大學第一回戰(寢屋川)
十月十八日	對同志社大學第二回戰(寢屋川)
十月廿五日	對關西學院第一回戰(甲子園)
十月廿八日	對同志社大學第三回戰(寢屋川)
十一月八日	對關西學院第二回戰(甲子園)
十一月十一日	對關西大學第三回戰(甲子園)

尙ほ今秋よりは聯盟の維持費に充てる爲め若干の入場料を徴すことになつた。但し本學のゲームに限り制服制帽の本學學生は無料入場を許されることになつてゐる。

豫科チーム 帝國大學野球部聯盟主催の全國高等專門學校野球大會關西豫選は來る七月十八

對法政大學二競技戰

法政大學對本學の三競技戰は六月十四日明治



愛日小學校に於ける音楽部私演會記念撮影(記事参照)

神宮競技場と中野法政大學コートの二箇所で行はれた。其結果、法政大學は庭球に勝ち、本學は陸上競技に勝ち、ラ式蹴球戦は兩軍三對三の同點となつた爲め、三競技を通じての成績は無勝負と云ふことになつた。

蹴球戦 午前十時半 神宮競技場 フィールドで
 舉行、審判増田氏、法大の先蹴で開始した。

前半戦に於いて兩軍共にワントライ各三點宛を入れたが後半戦に於いては兩軍接戦のまま遂にタイム・アップとなる。

陸上競技 午後一時から神宮競技場で舉行せられたが結局四十二點半對二十點半の差で本學の勝ちに歸す。兩軍の得點表は次の通りである。

開大	種 目	法大
3	百 米	3
6	走 高 跳	0
5	千五百米	1
6	圓 盤 投	0
4	低 障 碍	2
3	五 千 米	3
4	槍 投	2
3	四 百 米	3
5½	走 高 跳	½
3	棒 高 跳	3
0	マドレーリレン	3
42½	總 得 點	20½

千里山う式蹴球部が第一回の東京遠征を試み明治神宮競技場に於いて法政大學と接戦を交へたことは別項所報の通りであるが、其翌日更に明治大學と戦つた。然るに前日の戦に我軍中の勇者竹田、北地兩君傷いて又起たず補缺選手を出して戦つたが遂に十五對零で敗れた。今回の遠征に於ける吾軍の陣容は次の通りであつた。

りであつた。

[illegible]

大阪インターカレッジ陸上競技聯盟主催第一回優勝陸上競技大會が六月二十八日午前九時から築港市立運動場に於いて舉行されたが之に出場した千里山陸上部は次の如き段違ひの成績で勝利を占め大阪毎日新聞社の優勝トロフィーを得て午後五時半閉會した。

フィーを得て午後五時半閉會した。

トラック▽高障碑關大谷上2 外語仲川3 關大戸川
▲千五百米四分三十秒關大津田2 高商丸本3 關大
高橋4 藥專小西▲八百米リレー一分三十八秒六外
語(小川、西田、仲川、内田)2 關大3 高商4 齒專
▲四百米五四秒四關大松葉2 外語仲川3 外語西田
4 高商越野▲五千米十七分十四秒四關大津田2 藥
專末吉3 藥專小西4 關大田中▲百米十一秒四關大
福田2 齒專林3 外語内田4 關大藤井▲二百米二十
三秒一關大福田2 齒專林3 外語内田4 高商越野▲
八百米二分八秒四關大松葉2 關大矢作3 高商丸本
4 高商四位▲低障礙二十六秒七外語仲川2 關大谷
上3 關大小林4 高商小野▲千六百米リレー三分四
九秒關大(福田、澤田、有賀、松葉)2 外語3 高商
フィルド▲走高跳六米三十七齒專林2 關大木下3
齒專山木、外語澤田▲鐵彈投射十一米十三・五
關大中澤2 關大高野3 高商繪川4 關大南浦▲走高
跳一米六九關大中澤2 高商繪川3 外語渡邊4 高商
大西▲圓盤投三十米三一關大中澤2 關大高野3 關
大永田4 高商越野▲棒高跳三米五〇關大谷上2 關
大西田3 關大南浦▲ホ・ス十二米九七外語仲川2
外語清和3 高商繪川4 齒專林▲槍投四四米六〇・
八關大山縣2 高商繪川3 關大南浦4 齒專三木
【總得點】關大百一點、外語三六・五點、高商二
五點、齒專一五・五點、藥專六點

六月二十八日午後三時から鳴尾運動場に於いて和歌山高商對本學のア式蹴球戦が催はされ

た。本學前年戦に二點、後半戦に七點を入
れ結局九A對零で本學の勝利なる。

音樂部 近狀

千里山音樂部では去る六月十五日大阪無線放
送局の依頼を受けてマンドリン・オーケスト
ラの放送をなし好評を博したが、次いで六月
二十日小鈴會贊助の下に今橋五丁目愛日小學
校に於いて私演會を開いた。午後六時半から
開會したが入場者約九百こ上り頗る盛會で殊
に同部が新らしくコンダクターとして迎へた
吉田吉太郎氏の獨唱は度度アンコールされた
超えて同二十五日には右私演會の慰勞會を南
海食堂に於いて催はし部員一同歡談を交へて
散會した。

同二十八日大阪外語講堂に於いて開催された
關西學生聯合雄辯大會にも出演した。尙ほ七
月十五日にも再びラディオの放送をなす筈で
今後毎月一回宛此放送を引受ける豫定になつ
てゐる。

千里山辯論部報

千里山辯論部では今回辯論部の發達と優秀な
る辯士の養成を期する爲めに新しく部員制度
を採用した。即ち部長に佐々教授を、委員に
米田浩三(法三)木村鹿男(法三)山崎峯雄(法
三)數下益治(法一)原田滿(法一)の諸君を舉
げ部員として徳竹要(法三)戸田省三(法三)上
村靜馬(法三)野原修五郎(經三)清水正秀(法
一)伊藤新治(法一)長岡盛介(豫三)本田末一
(豫三)辰巳孝治(豫二)山本耕三(豫一)の諸君
が夫夫其地位についた。

第九教室に於いて第一回の學内雄辯大會を催
したが聴衆多數で頗る盛會を極めた。尙今回
から獎勵の意味で優秀な辯士に賞品を授與す
ることになつたが當日の受賞者は清水正秀、
村田定一、山本耕三、古賀直、樫本信夫、今
井憲夫の六君で、プログラムは次の通りであ
つた。

プログラム

一開會之辭	委員 原田 滿君
一愛國の叫び	豫一 田中 一 郎君
一國難に際して	豫一 村田 定 一君
一未 定	豫二 廣 瀬 義 夫君
一民衆政治の第一歩	法一 樫 本 信 夫君
一揆 擧	聽 北 村 兼 子君
一都市生活果して是か	豫三 長 岡 盛 人君
一學窓より見たる市議院	豫三 古 賀 直 君
一揆 擧	委員 木 村 鹿 男君
一婦人問題労働問題より自由と平等と博愛を基調 とする社會の建設へ	豫二 田 中 基 次君
一永遠のユトビヤ	豫一 今 井 憲 夫君
一感 想	豫二 和 田 二 郎君
一近世及び現代の農村問題	法一 清 水 正 秀君
一誤れる朝鮮觀	豫一 山 本 耕 三君
一婦人運動を嘲ける	豫二 辰 巳 孝 治君
一閉會之辭	委員 數 下 益 次君

因に同部では其後次の通り辯士を派遣した。

△五月五日龍谷大學 法、三米田浩三君△五
月二十三日大阪齒科醫專 法一、八澤俱好君、
豫三、長岡盛人君△六月五日大阪高商 豫二、
辰巳孝治君△六月六日關西學院 法一、樫本
信夫君△六月十四日橫濱高工 法一、原田滿
君△六月十四日法政大學 法三、山崎峯雄君

△六月十六日同志社高商 法一、原田滿君△
六月二十日大阪藥專 法三、米田浩三君豫三
長岡盛人君△明治藥專 法三、徳竹要君△成
器商業 豫一山本耕三君

福島文藝部報

辯士派遣 其後福島文藝部から各校派遣した
辯士は次の通りである。



天王寺公會堂に於ける福島辯論部主
催學内雄辯大會記念撮影(記事参照)

△大谷大學 法三、眞鍋竹治郎君△大阪齒科
醫專 法二、眞鍋靜雄君△專修大學 商三、
石田三郎君△大阪高商 商二、森田正芳君△
立命館大學 法三、小谷完治君△關西學院 商
二、神戸鶴三君△橫濱高工 法三、野坂眞

三君△大阪藥專 法二、島田三郎君△神戸高
工 經三、藤井通夫君
關西學生講演聯盟に就いて 五月三十日立命館
大學に於ける聯盟委員會に本學委員として松
井慶次郎、三宅萬吉の兩君を出席せしめた。
同聯盟本年の當番校は立命館及び京都府立醫
大であつて、本年度大會は来る十一月十日京
都岡崎公會堂で開催の豫定である。

第一回辯論大會 五月二十四日午後一時から福
島學舍大講堂に於いて開催、聴衆約四百、頗
る盛會であつた。

第二回辯論大會 六月六日午後六時から浪速區
鐵眼寺に於いて開催、聴衆約一千、市議選舉
の後を受けて盛會を極め聴衆に多大の感動を
與へた。

會誌發行 三ヶ年間休刊を續けてゐる『關西
論叢』を本年度より復活せしめることになり、
草野三喜男、眞鍋辨次郎、島田三郎、神戸鶴
三、藤本悟一の諸君を委員に舉げて着着準備
しつつある。

學内雄辯大會 六月十三日午後六時から天王寺
公會堂に於いて福島學友會文藝部主催の下に
開かれた。定刻前聴衆は既に堂に滿ち異常な
盛況振りを示して午後十時散會した。プログ
ラム次の通りである。

プログラム

一開會之辭 商科 香西政一君
一現代労働運動の方向 豫科 山根金太郎君
一相互扶助の美しさを以て 文科 中道政雄君
一耐震耐火の殿堂を建てよ 法科 村田五一君
一對岸の警鐘! 經濟科 松井 彦君
一三歳の童が持てる又 商科 田中久雄君
一自我生活と文學 文科 草野三喜男君

一必要に法莫し
 一司會者挨拶
 一産業立國の根本義
 一非アール人種覺めよ
 一失業問題に就て
 一黎明の鐘を亂打して
 一閉會之辭

法科 吉川 定君
 法科 松井慶次郎君
 商科 瀧石彦馬君
 法科 村田重吉君
 經濟科 川上武藏君
 商科 服部繁太郎君
 經濟科 三宅萬吉君
 法科 庄司文六君

水泳部遠征

福島水泳部員九名は去る七日午後七時半本田部長に引率せられて梅田驛出發九州遠征の途に上つた。一行は關門海峡を泳ぎ渡り、九州各地では約一週間の豫定で各學校團體等との對抗競技又は遠泳を試みる筈である。

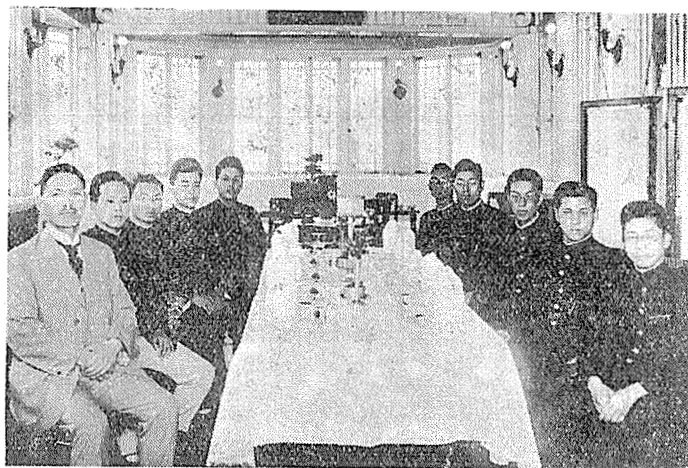
第三回工業見學

六月十日放課後市内東淀川區大阪市水道部淨水所へ大學豫科二年生の有志一同は河村松崎兩氏嚮導の下に工業見學第三回を催した、同所従業員案内に由り沈澱池濾過池淨水池送水唧筒等に就き詳細なる説明を聞き淨水に對する一般智識を得兼ねて我々の日常無意識的の上水浪費に對して少なからざる警告を感じしめた、終りに右水道部安川庶務課長(本學卒業生)の特別な御配慮と淨水所諸員の懇切なる御案内を感謝する。尙本工業見學は前に記したるが如く高等の常識養成の一助として始めたものであつて其参加は全く學生諸氏の自由意志にまかせ少しも強制せないのにも叶はず回を重ねるに順ひ諸氏の見學に對する眞了解を得参加人員の増加する事は將來産業立國の大精神に向つて進むべき國民の一員として甚慶賀すべき事云ふべきである、校

友諸賢に於ても左記學生の氣運に對して御關係の工業施設に對し見學の便を與へられん事を御願する次第である。

英語會近狀

△新任講師小〇ーリングズ氏は六月二十一日午後二時住吉區北畠の自邸へ會員を招待した會するもの十九名、〇ーリングズ氏の兩親も



千里山獨法會觀會記念撮影(記事参照)

加はり面白きゲームの數に皆打融けて日曜日の午後を愉快に過した。殊に英國式の落着いた家庭の空氣の中に於て手厚い響應を受けた事は會員の英國及び英國人に對する好感を助長し又英語研究に對する刺激もなつた

事であらう。

△六月二十七日土曜日午後六時から英語會では新任講師〇ーリングズ氏の歡迎晚餐會を道頓堀離萬に於て開いた。當夜は本學飯田講師も出席した。餘興として山口君のハーモニカ獨奏等があり、又〇ーリングズ氏は英國の教育制度について約三十分互に有益なる講演を爲し歡談裡に道頓堀河の夜景を賞しつつ九時半頃散會した。

△在學當時英語會の幹事として盡瘁せられた腰高貞雄君(大正一二經)は卒業後も絶えず同會の爲めに援助を與へられて居るが今回會員に分つ爲め多數の英書を寄贈せられた。茲に同君の御好意を深く謝する。

フランス研究會總會

千里山フランス研究會では去る五月二十三日午後二時から市内立賣堀辻田氏邸で本年度春季總會を催した。會員數十名出席定刻委員の開會の辭及び前年度事業報告あり次いで次の講演があつた。

一フランス文化に就いて 會長 賀來講師
 一佛語に就いて 德尾講師
 講演終了後本年度の事業に就いて種種打合せをなし滿場一致を以て次のことを可決した。

一佛語特別講習會の開催
 高等科 毎週水曜放課後 賀來講師擔任
 初等科 毎週土曜放課後 加藤講師擔任
 これより席を更めて戎橋橋畔離萬に至り、折柄道頓堀の河面に映る美しい灯影を賞しつつ一同晚餐の卓を共にし充分に歡を盡して午後十時散會した。

千里山獨法會

獨法科三年生より成る同會では去る五月二十三日午後五時より北濱離萬に於て懇親會を開き武田講師を中央に食卓を圍んで今年度の方針につき懇談するところがあつた。

又同會では去る五月三十日午後四時三十分より堂島ビルディング清交社にて第一回例會を開き「現代の社會相」なる課題に對して各會員の次の如き研究發表があつた。解散九時十五分新聞紙の法的及政策的考察 山田長之輔君 同盟罷工權の法的正當性 福西新右衛門君 社會法學より治安維持法を觀る 武良 操君

W.C.の自然現象に表はれたる意向論 牧山儀平君

又去る七月四日午後四時より中央公會堂第五號室に於て第二回例會を開いた。武田講師は「生存權に就て」震災地の罹災民と地主との關係より説き牧野英一博士の論說に對して嚴正なる批判を加へつつ獨逸民法の雇傭契約に及び我國社會生活より生存權確立までを縷縷説述した。尙牧山儀平君の「古社寺保存法」現代文化生活」なる發表もあつて、晚餐後夏期遊説につき種種打合せをなし盛會裡に解散した時に八時四十分。出席會員は岩佐。岩岸。大泉。小串。谷口。武良。野間。黒坂。牧山。松原。福西の諸君である。

雄辯同好會會報

千里山雄辯同好會は去る六月二十一日北區扇町教育會館で第二回の文化講演會を開き頗る成功を収めた。出演辯士は、田中義雄(豫二)村田定一(豫一)天川龍男(豫三)山本耕三(豫

一(中原喜代數(豫二)古増義夫(豫三)荻原精治(豫三)鏡下益次(法一)田中基次(豫二)辰巳孝治(豫三)原田滿(法一)榎本信夫(法一)清水正秀(法一)徳竹要(法三)加藤昌秀(豫二)の諸君であつた。

築豊郷友會

同會設立以來第二回の卒業生を今春三月に送り出した同會では更に今年度の新會員の入會を俟つて、去る五月二十六日當期第一回の總會を開いた。先づ役員を選挙し例年夏期休暇を利用して行つてゐる郷土遊説について種種協議を重ねた。役員次の通り決定した。

△會長 鶴海哲勝君(法三) △幹事 緒方到君(商三) 高原尚祐君(法二) 川野政平君(文一)

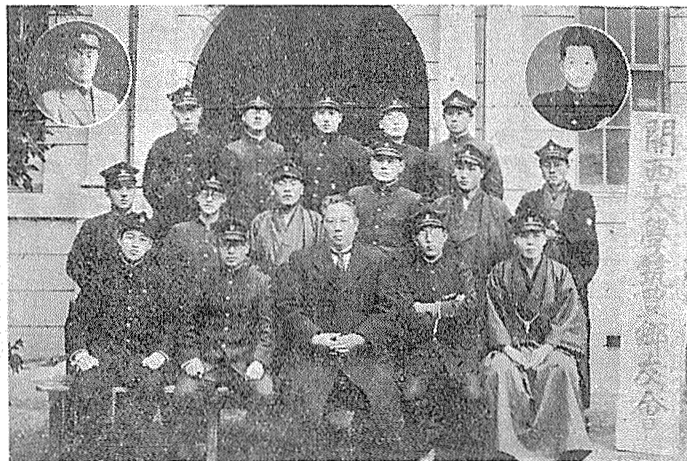
第二商業雄辯會

本學第二商業學校學友會辯論部では、大阪時事新報社後援の下に去る六月二十八日午前十一時から中之島中央公會堂に於いて第一回近畿中等學校學生雄辯大會を開催した。來り参するもの約三十有五校、聴衆亦廣い會場を埋め盡して頗る盛會であつた。午後五時半雄辯會終了後出演辯士及び辯論部委員は一同公會堂地下室の食堂で懇親會を開き戸田部長の挨拶があつて出演辯士には夫夫記念のメダルを送り最後に第二商業の萬歳を三唱して散會した。當日のプログラムは次の通りであつた。

プログラム

- 一開會之辭 本校 柳原行雄君
- 一熱血は叫ぶ 本校 矢谷幾君門君
- 一運動體育の生活に就て 西天商工 北村建三君

一壁の聲聞く時 明星商業 大道勝彦君
一先づ一歩を宗教生活へ 今宜職工 大黒義夫君



福島況豊郷友會員一同(記事参照)

- 今日の人の 浪華商業 阿江良男君
- 一苦悶 和歌山商 北野善次郎君
 - 一野犬と傳染病 本校 松元芳雄君
 - 一須く局面を轉換せよ 北陽商業 渡邊明夫君
 - 一宗教家よ起て! 市岡中學 太田義代治君
 - 一演題未定 上宗中學 吉岡一雄君
 - 一君國興廢の岐路 京都二商 船岡 隆君
 - 一混沌たる暗雲を破れ 天王寺師 秋定 實君
 - 一〇年を抱け此胸に 本校 下根行親君
 - 一聴け警鐘の亂打 天理中學 仁尾仁一郎君
 - 一演題未定 甲陽中學 松田久三君

一葉から見た大空 第一神港 宮島一失君
一演題未定 和歌山中 井上清繁君
一挨拶 本校 渡邊正人君
一生きて行く 大谷中學 旭 賢雄君
一演題未定 神戸二中 佐々木 保君
一物質文明より精神文明へ 關大專豫 大熊 隆君

一時勢に鑑みて 立令館中 高橋謙太郎君
一東亞の黎明へ 成器商業 八文字英二君
一演題未定 本校 八木未治君
一野次ありて向上あり 大阪貿易 木村徹夫君
一海外に雄飛せよ 東寺中學 田中敬昭君



第二商業學校主催第一回學生雄辯大會記念撮影(記事参照)

- 一演題未定 高野山中 藤生義澄君
一自己を確立せよ 中外商業 三木武雄君

學生歌募集

勇ましい歌が欲しい、雄雄しい歌が欲しい、我等のこの感激に満ちた胸の中を高らかに歌ひたい。それは一千の學徒の等しく望むところである。
この意味に於て雄壯な、豪放な學生歌を募集する。我等の歌は我等によつて作らるべきである。自信ある諸子の投稿を歓迎する。

規定

- 一、當選一篇外ニ佳作數篇
- 一、賞 當選金拾圓 佳作粗賞呈上
- 一、選者 本學教授
- 一、歌詞 形式自由
- 一、作曲 作曲堪能ナル本學學生ニ委嘱ス。但シ作者ニ於テ本學學生中ヨリ指定シ得
- 一、提出 千里山學舍事務所内雜誌部宛
- 一、締切 大正十四年九月二十日
- 一、發表 大正十四年十月十日

千里山學友會文藝部雜誌部

(第八頁より續く)

例へば左表の如き場合、或生産者の從來の生産高一〇〇・〇〇〇〇單位とし、其設備を擴張せる後の生産二〇〇・〇〇〇〇單位とする。此際彼の探る最も有利なる方法は表中Bの如く賣却する事、即ち生産量の半分を原價以下に外國市場に賣却する事である。此方が從來の儘の設備にて從來通りの生産販賣を續けるAよりも。或は更らにCの如く内地市場の價格を引下けて増加せる生産物の全部を内地に賣却するよりも遙かに有利である。即ちBの輸出價格參圓五拾錢は平均生産原價參圓六拾錢よりも低くして一單位拾錢づつの損失を來す。夫にも拘はらず十萬單位の増加によつて總生産量を二十萬に倍加し、それによつて來る平均生産原價一單位九拾錢の低下を得、而も内地には從來と同量の十萬單位のみを賣り以つて從來通りの價格を支配する。然らずして倍加せる二十萬單位全部を内地に賣却せむすれば供給増加によつて價格は參圓七拾錢に下落する事となり結果生産量増加から得たる經濟の大部分を吐き出す事となる。故に永久的にDumping價格を生産原價以下に引下ぐる事は生産者に探つて最も有利なる方法となる。(此所に注意すべきは此際の際低價は社會一般に原料品價格、勞賃等の下落の結果として來れるものでは無く、當該生産者の設備組織等の改良擴張の結果として來れる原價低下である。前者の場合には已に述べたるが如く獨占生産物に於ても價格の低下を見つつあり唯後者の場合にのみ然らざるを得る。)

かくて獨占價格は生産者の意志によつて最高

利得の點に決定され、原價の上下に拘はらず定められ、更らに常に競争價格と等しく原價よりも高く置かるることを獨占價格の通説は事實上の經驗によつて多少の附加修正を必要とするものの如くである。即ち生産者の意志による範疇大なるを得るも尙一般的原價の變動によつて影響され且つ多くの場合最高の利得よりも、むしろ價格の安定が目的とされ、且つ屢屢獨占到特殊なる事例として生産原價より以下に永續的に賣らるる事ありとする諸點である。(完)

餘白錄

水車場の小僧から大學教授

オックスフォード大學の比較言語學教授ジョセフ・フニイト博士(Dr. Joseph Wright)は、その少年時代に母と二人きりでブラッドフォード附近の茅屋に住んで、毎日町の水車場に働きに出て居た。彼は仕事の傍ら寸暇を利用して獨學を続け二十歳になつて自ら小さい夜學校を開いた。夜學が済んでから、彼は數學、ラテン語、佛語、獨語等を翌朝の二時頃まで勉強し、極く僅かの睡眠を取るのみで、七時頃にはもう水車場へ出て行つた。二十一歳の時、彼はそれまでに貯蓄してゐた約四〇ポンドの金を有つてドイツに渡つたが、彼のこの思ひ切つた行爲は大いに成功した。即ち彼はその後十數箇國の國語を學び、遂にオックスフォードの言語學の教授になつたのである。

這般博士は七十歳になつて隠退したが現に尙は饒鑠として双者を凌ぐ健康體で、立派な大邸宅に納まりかへつて、而も尙ほ倦むことを知らず、専門の研究にいそしんでゐるこのことである。

關西甲種商業學校彙報

行事

五月七日 午前八時より在校生身體檢査施行
同日 天皇皇后兩陛下銀婚式御舉行につき奉祝式舉行。

同十二日 左記順序により春季修學旅行施行

第五學年 東京、日光方面

第四學年 山陽方面

第三學年 舞鶴方面

第二學年 近江琵琶湖方面

第一學年 和歌山方面

同十九日 東宮殿下當市行啓につき全生徒奉

送す。

同二十日 全國中等學校校長會議參列のため垂水主事上京。

同廿四日 兵庫縣豐岡、城崎地方激震につき卒業生及び生徒の父兄に見舞狀を發送す。

同廿七日 上京中の垂水主事歸校す。

人事

小樽高等商業學校出身 植松房藏

四月十日教諭就任、商業科擔任

京都繪畫專門學校出身 松野嘉一(郎)

六月一日教諭就任、圖畫科擔任

五月末日附依願解職 中尾春雄

謹啓 薄暑之候益御清祥慶賀之至に奉存候陳者拙者儀多年

大阪市北區川崎町に居住罷在候處今般都合に依り左之所へ

轉居致候間一層の御懇情を蒙り度候自然最寄御通過の節は

御立寄り可被下希願候

尙長男雄一は武庫郡御影町に二男誠二郎三男良三共當分拙

宅に同居爲致候

先は轉居御通知旁得貴意候

敬具

大阪府三島郡千里山(住宅地千里通)

大正十四年七月

垂水善太郎

追伸 電車は梅田阪急線十三驛乘替新京阪線にて大學前より終點千里山驛より約三丁以内

(近日天神橋六丁目より乘替なく開通約十六分にて達する由)汽車は吹田驛下車西へ約四

丁東吹田驛より乘車を便利と存候

文藝欄

學生日記 (1) 章三作

海と自由

歸省した筈だったTが、ひよつこり顔を出した。都合で、明後日歸るこじになったからしばらくのお別れに濱寺にでもつき合へ云ふ。私は言はれるままに家を出た。

低い小松の林立、白い砂、滑らかな海岸線——何一つ奇み呼ぶものがない。それでゐて私は濱寺がうれしい。好きだ。平凡な、なつかしい故郷、そんな感じが私を捉へてゐる。電車の窓から、眼界を限らぬ夏の海のひろがりを見るこ、わけもなく私の胸は躍った。

「荒いぞ。」

Tが半ば獨り言のやうに云つた。ガラガラと輝く水の面に鷗のやうに飛びたつのは浪頭であらう。……

ボート屋のMは古い馴染である。今日も彼女の顔がテントに見られた。

「まア、御機嫌さん。」

彼女は床棋の砂を拂つて呉れた。

「今日、始めて……?」

「ああ、始めて。」

Tはもう着物を脱ぎにかかつた。

私もすぐ準備にかかつた。

夕方まで泳いで、それから歩かうといふ計劃だったので私等はなるべくゆつくりする必要があつた。が、海邊の日は、まだ高いのに閉場の鐘が鳴つた。ボート屋は、夫夫メカホ

ンを振つて沖のセーラーを呼んだ。投水臺にも、圓木にも人人の聲がさびれ、巡査に注意せられて走る人等もあつた。

體が少し寒くなるまで泳いで、私等はMのテントまで歸つて來た。テントにはMが一人待つてゐて呉れた。

「やあ、すまん。」

Tが無骨に云つて退けた。その調子がかしかつたのでMは笑ひこけた。

Mが歸るこ、私等はボチボチ歩き出した砂の白い公園を抜けて海岸に沿つて南へ向つた。やがて小さい松原が終るこ、かなり高い松林が展けた。夕陽が眞紅に燃えて、砂原の面に黄金の波をただよはせた。うねうね高い松の梢から、十二三日ばかりの月が、雲のかたわれのやうにのぞき見られた。間もなく私等は廣い野原につき當つた。

「寝轉ばうよ。」

私の提案で、二人はそこにへたり込んだ。私等——殊にTは先刻からしきりに空腹を訴へてゐたので、

「マツチとお腹があつたら、ここで夜明しをやるんだがね。」

煙草の好きな彼はマツチも空になつてゐたことを知つたので、私がさう云ふこ、

「マツチを探して來やう。」

彼はさう云つて立上つた。

「何か喰べ物があつたらねえ……」

「よし來た。」

彼はノコノコ歩き出した。私は寝ころんだままそれを見送つた。一人になるこ、私は附近に瞳を移した。名も知らぬ草花が咲き、空は銀紺色に晴れてゐた。

フト、夕陽が沈んでしまはないかと思ふこTの歸りの遅いのに氣がついた。まさか、私を捨てて置いて、日没の海に恍惚となつてゐる程の詩人でもあるまい。さう思つて立上るこ、ズット南に彼の姿を認めた。手を舉げて何か私に合圖をした。彼の唇から白い煙がサツシ流れた。

「何處まで君は行つて來たんだ?」

「つい、あんなこまでさ。」

私はフト彼が片足しか靴を履いてないのを見た。

「靴は?」

「ないさ。」

「靴なしであんな所まで……?」

「ああ、をさへてるね。」

私等は失笑してしまつた。靴の片足は先刻から私の枕になつてゐたのであつた。

彼は寝轉んで、うまさうに煙草をふかした。

「Mさいふのは一寸いいね。あれでもうお母様になるんだね。」

Tの言葉は私には解りかねた。

「始めてかい?」

「何が?」

「子供がさ。」

「誰の?」

「Mさ。」

「M!」

私はびつくりした。そして、彼女の顔色や時時ジツと物を見つめたりする様子でそれがわかつたさいふTの説明を聴いてゐた。昨年まで、彼女の母に頼まれて、彼女を海へ入れてやつたこ等思ひ出すこ、私は或驚異を感じずにはゐられなかつた。考へて見るこ、な

る程Mの様子は一體に少し重た過ぎた。人に後れて微笑んだり、やつこ口を切つたりするこが思ひ出されて來るこ、Tの言葉が信じられるやうになつた。

虫が一匹私の腕に飛びついて來た。私はその虫を示し乍ら、この虫の名をTに訊ねた。

「はたはたこぞ!」

彼はさう答へ乍らその虫を捕へた。私の故郷では、これを「七夕」ミ呼ぶこを思ひ出して、其の或共通な言葉の意味をなつかしく感じた。

「夕陽を見やうぢやないか。」

私は立上つた。Tも私について破れ靴を履き乍ら立上つた。

「まだ見られるだらうね。」

「まだ一間位あるだらう。」

「一間位!」それが私の耳にをかくし残つた。

濱に出たが、陽はもう山の端に重なり合つた夏の雲の中に掩はれて、赤い射光が千切れ雲を染めてゐた。

癪な靴だ!Tは時破れ靴に砂が入るこ云つて顔をしかめたり、「無理もない、現役には餘りに老いた。」と諦めたりした。

海!それはいつ見ても雄大である。あの力強さ——母の寛容(胸)さ、愛人の幻(瞳)さを海は一人で備へてゐる。

「暮れた。」

Tがしばらく歩いてから云つた。遙か水平線のあたりが暮色に塗りつぶされて、全く落ちてしまつた太陽の餘光が、ずつこ手近かに幽かに光つた。そこは、歸帆の一つだに見るこさ出來ない廣さだ、寂しさだ。

私はやがて、海邊の松の茂みの中に五六軒並んだ海士小屋を見つけた。家の端から、うねうねと伸びたぐりぐりの松の根方へ、木像のやうに立した裸體の男を見た時、思はず襟を正したいやうな敬虔な心持ちになつた。呼びかけて、男は語つて見たいやうなつかしさを感ぜずにはゐられなかつた。幾年も、幾十年も、この波、此の風、この磯の香と共に生きて来た彼の巖丈な腕、真黒い體は、侵し難い聖さ確さの上に立つてゐるのだ。彼等は確かに英雄だ。猛者だ。形式こそ違へ、人間の嘘の皮に愛想をつかし、家や人を捨てて天蓋放浪の路を辿つた先哲等と同じやうに、私はこの男を尊びたい心持ちになつた。あの生活もいい。この生活も美しい。しかし、肉と感能との、あくさまでの生活の誰か眞に否定し呪ふことが出来るものぞ！暗が降りて来る、月がさへて来た。波に映つてゐた太陽の餘光と思つたのは、いつか月の影に代つてゐた。Tが突然得意の追分を唄つた。彼のバスが幽かに波の上に匂つた。學生日記の名の下に、平凡な學生の平凡な生活を寫し、その中に全關西大學の縮圖を見たいと云ふ作者の希望に賛して、この一篇を掲載しました。紙幅の都合で多少削除省略したところのあることを作者にお断りして置きます（編輯者）

千里山歌壇 編輯部選

△夏 田中基次

海戀ふる友の瞳の中に見る向ふ林の緑の濃さよ

△古日記より

たはむれに吐ればまなこ一ぱいに涙をためて

吾を見し君
△
心にもあらぬぢれご言ひ募り別れ來し夜のいらだししさよ

△
絶海の小島に一人すてられて生くる心地すこの頃のわれ

△夏を煩ふ 江口冲山
吾れ獨りたよわ男と思ひければつらなく生けり夏枯れの空

△
けらけらと惡魔笑へりその瞳又夏が來しよ何か物言ふ

◎
過般本學の研究生諸君が一夕の會合を催ふした時野村滋藏君は出席者の姓名を詠み込んだ次の如き歌を披露した。

△宮島綱男先生

みやびなる島國人は文の海に學びの綱を男しくも引かむ

△辰巳經世君

たつ月日かへりみもせず經世の業に明け暮れいそしめる君

△森川太郎君

森は枯れ川はあせなむ世なりとも太きころは牢（郎）と動かす

△岩岸 巖君

岩にせき岸打つ波をものみせず巖の如くそば立てる君

△戸田省三君

くくたちて暁くは寝ぬる此の日頃我省みぬ三

度び我がわざ
△野村滋藏君
野の彼方淋しき村の滋草もさぐれば藏れし道はありけり
（一四・六・二一）

千里山俳壇 朝冷選

□ 稻野 宇津呂 三之

夕納涼木木のくらぎを歩きけり
井戸の水日日高まる夏近し
薄すれゆく虹に風あり苗代田

□ 神戸 津田 道之助

陽炎や橋の袂の道しるべ
初夏の風カーテン白き喫茶店
金魚賣の聲横丁に聞へけり

□ 門司 納所 孝

町角の水屋水を打ちにけり
□ 福岡 江口 忠太

春の風澤庵匂ふ在所哉
あたたかや脱ぎたる下駄に蠅の來る
苗代に蛙鳴き出す小雨哉

鈴蘭に音ある風の夏近し
追加吟 朝 冷

崖たるる葛に火の散る夜振哉
夕立に高き堤の藜哉
睡蓮の浮葉茜に夕立晴

一、當季雜詠募集
一、送稿先、兵庫縣灘深江 有田朝冷宛

一、締切毎月二十日

一、用紙半紙、封皮には必ず「千里山俳句」と
朱記のと

學生諸君に告ぐ

千里山學報投稿に就て

▼學友會各部の記事、各種研究會、親睦會、縣人會その他學生諸君會合の記事、論文、文藝作品等本誌に掲載希望の原稿は、總て千里山學舍圖書閱覽室内及び福島學舍學出入口左側に設置してある千里山學報投稿函に投入して下さい。
▼但し寫眞その他投入不能の材料は、事務所又は學報局へ直接提出して下さい。
▼毎號締切は前月二十五日限りとし、その以後の分は次號に廻します。
▲尚ほ取捨撰擇は一切學報局へ任せて頂きます。
大正十四年七月 關西大學學報局

大正十四年七月十三日印刷
大正十四年七月十五日發行

不許複製

編輯兼發行人 辰巳經世
印刷者 飯田彌之助
印刷所 會社三有社
發行所 關西大學學報局
大阪府此花區上福島北二丁目
大阪府西區土佐堀通四丁目五番地
大阪府西區土佐堀通四丁目五番地
大阪府此花區上福島北二丁目

福島學舍 關西大學
電話土佐堀（一〇四九）
電話土佐堀（五五七〇）

千里山學舍 關西大學
大阪府外千里山
電話吹田（一二三）

計時堅牢的男性



瑞西製

モエルフ

銀側	パリー型十五寶石入	絹リボン附	¥ 13.50
ニツケル側	〃	〃	〃 12.50



計時駒生店

大阪高麗橋四丁目（淀屋橋筋南へ入東側）

電話 本局 八四五番 四七一六番

八月號休刊

例年の通り本誌八月號は休刊し
第三十二號は九月十五日發行
致すまじ

大正十四年七月

關西大學學報局

御願二件

▼御面倒すが校友各位の當學報局に
寄せられる御書信には必ず御卒業の
年度並に部、科名を御書き添へ下さ
るやう御願ひ申上げます。

▼這般集金郵便に關する規則が改正せ
られまして一口金額參圓以上でなけ
れば取扱はれないことになりました
た。就きましては本誌の維持費を集
金郵便で御拂込み下さる場合には申
し兼ねますが一箇半分若くはそれ以
上として金額參圓以上御指定下さる
やう勝手ながらこれ亦御願ひ申上げ
ます。

大正十四年七月 關西大學學報局
關西大學校友各位

關西大學
同第二商業
關西甲種商業
指定

明文堂
野島書店

大阪市此花區上福島北三丁目
電話 土佐堀 一二八六番
振替 大阪 三九九九一番
本學校友 野島藤次郎

關西大學
關西甲種商業
關大第二商業
指定洋服商

長谷屋號

大阪市上本町六丁目
電話 南 四五一二番
振替 大阪 五五三八番
●今宮支店 ●釣鐘町支店

關西大學教授 沖中恒幸先生著

金融機關の綜合的研究

菊版クローヌ製
紙數約五百頁
定價金四圓

新刊

『本書の目的とする所は、世界を通じて發展しつつある所の、各種の金融機關が前述企業家の最初にして基本的なる目的の爲めに、如何に統一されたる全體として、整調されたる作用を営みつつあるかを知らうとするにある。かくて現代經濟組織の最奥にあつて、社會を動かしつつある力の働きを、其有の儘なる姿に握らむとするにあるのである。従つて各種金融機關の個別の内部に深く入込むで、専門家の立場から研究を試みるものではない。飽く迄も異なる各種を綜合的に見て、最後の目的とする所の爲めに、各々が與へられたる立場に於て、如何によく統一的作用を爲しつつあるかを知らうとするに過ぎない。唯偶然にも此試みが金融機關研究に入らむとする初學の人達に取つて、機關そのものの性質、作用等に就て多少の参考ともなり得るならば、誠に望外の喜びである』……著者序文の一節……

發行所

東京市神田區猿樂町二番地

嚴松堂書店

電話四九四四番 振替東京六五五番

健康地帯！

天神橋筋六丁目から新大阪電車の直通により

大阪へ十六分間、關西大學へは徒歩にて十分間で行ける

千里山住宅地の特價分讓

△奔騰の前兆ある絶好放資物 大阪は東洋第一の生産土地で自然市内は住

居に適せず日々郊外住宅地より市内へ蟬集する住民は無慮數十萬と稱せられ

てゐます、就中千里山分讓地は大大阪都市計畫區域中、北郊唯一の指定住宅

地にて土地の繁榮は勿論地價奔騰は目前に迫つて居ります

△行届いた各種の設備 十數萬坪の内、土工地約七萬坪は地區整然たる道

路、衛生的の下水、水道、瓦斯總ゆる文化設備が完備し小綺麗なバンガロー

や別莊風の日本建築が周圍の美しい環境に包まれて居ります

△當分の間早い者勝ち 千里山の土地を資金化する爲め其一部を殆ど原價

にて分讓致します、月賦拂の便法もありますから御希望の方は左記へ御申込

を願ひます

大阪市東區北濱二丁目二十七番地(内北濱)

大阪住宅經營株式會社

電話本局 二二五五三番

千里山出張所

電話 吹田 一〇五番

勿論貸家は三百戸もありまして御意に叶つた家が時々空くこともあります

交通至便！

